取扱説明書

ディジタル方式
3回線自動応答装置
AT-D39R

このたびはタカコム3回線自動応答装置AT-D39Rをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

もくじ　ページ

おもな特長

■年間タイマーで毎日の操作(ON・OFF/メッセージ切替)を自動コントロール(➡P.14)

- １年間の会社行事予定に合わせて、応答の自動セット・リセットやその状況に応じた応答メッセージに自動切替することができます。
- タイマー自動応答のほか、マニュアル操作で応答メッセージを選び応答させることができます。

■IC録再方式だから、3回線頭出し再生。メンテナンスフリー

- ３回線同時に電話がかかっても、冒頭からメッセージを伝えることができます。
- テープを使用していませんので、音質劣化・機械的故障の心配がありません。

■9種類の応答メッセージOK(➡P.11)

- 応答メッセージは、たとえば、平日用(業務開始前・業務終了用)・休日用・祝日用・夏休み用……など、用途別に９種類を用意することができます。
  また、このほかに保留音源用１種類、用件録音システム用２種類が使用できます。

応答メッセージ	９種類	①ch～⑨ch

■応答メッセージは最大13分まで録音できます

- 録音時間は標準１分、最大13分(※)です。(チャンネルごとの録音時間は自由です。)
  ※別売の「音声メモリーユニット４分用」を３枚まで追加した場合。
- 録音方法は「マイク」「テープレコーダ」「ミキシング」の３通りができます。また、メッセージの録音順序を登録しておけば、テープレコーダから自動録音ができます。

■保留音源装置として同時使用ができます(➡P.39)

- 電話の保留時には、独自の音楽などが常時流せます。
  ボタン電話・交換機(PBX)の保留音源装置としてご利用になれます。

■システムアップにより、用件録音も3回線同時に可能です(➡P.32)

- 別売の自動通話録音装置VR-200の接続(最大12台)により、本装置で応答後、相手の用件が録音できます。
- VR-200はCカセット(C-60またはC-90)を使用したダブルデッキ方式で、用件録音時間は最大6時間です。※ただし、VR-200を1台接続し、C-90テープを2倍モードで使用した場合。
- テープが録音で満杯になったときは、以後の録音を受付けしない「録音満杯応答用メッセージ(⑪ch)」を、また、録音動作中で空きのVR-200がないときは、相手に待っていただく間、「お待たせ案内用メッセージ(⑩ch)」が流せます。

用件録音システム用	お待たせ案内用	１種類	⑩ch
	録音満杯応答用	１種類	⑪ch

■離れた場所からリモートコントロール(➡P.34)

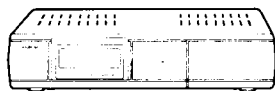
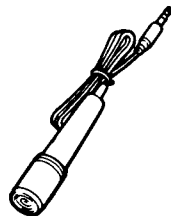
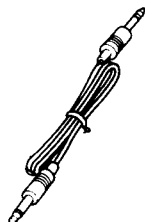
- プッシュ信号の出る電話機を使って、「応答メッセージの録音」「応答メッセージの切替」「応答セット/解除」などのリモコン操作ができます。
  ※自動通話録音装置VR-200に録音された、相手の用件を聞くことはできません。

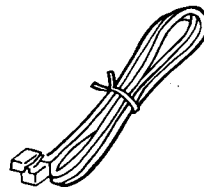
■「音声ガイド」の送出でらくらく応対(※)(➡P.40)

- たとえば、電話による問い合せ窓口などで、質問内容に応じて、あらかじめ用意した「音声ガイド」メッセージをマニュアル操作(回線番号・ch番号を指定)で流すことができます。
  ※応答専用機能、用件録音機能との併用はできません。

はじめに

セットの確認

次のものがそろっているかお確かめください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。

モジュラーコード

3本

取扱説明書 (1)
プログラム表 (2)
1日パターン計画表 (1)
リモコン操作カード (2)
保　証　書 (1)

取付けについて

- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご使用になれません。
- 規格の異なる海外ではご使用になれません。
- 取付工事は、販売店にご依頼ください。

■システム概要図

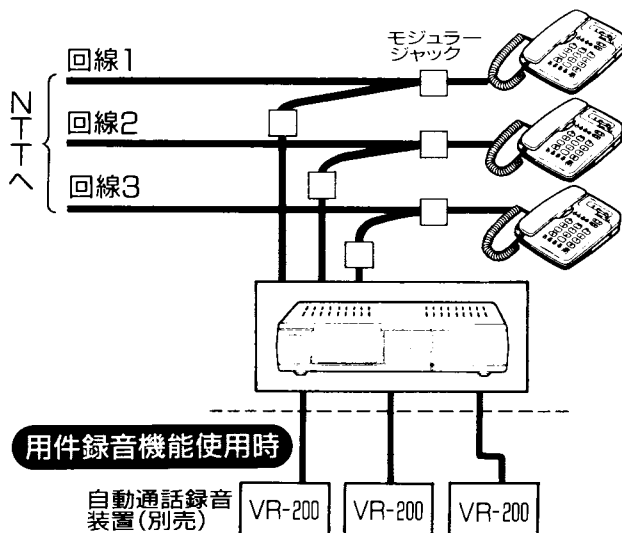
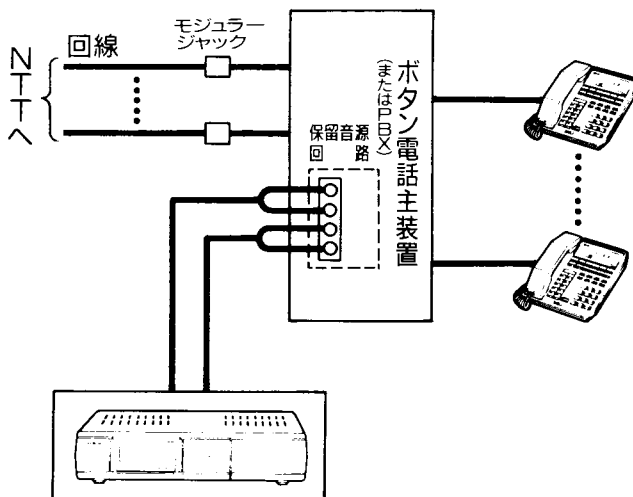
応答専用機能使用時

保留音源機能使用時

NTTへ
回線1
回線2
回線3
モジュラージャック

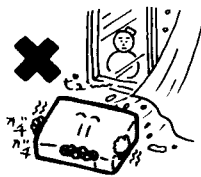
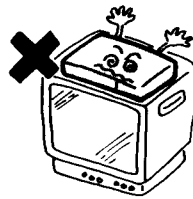
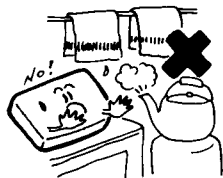
用件録音機能使用時

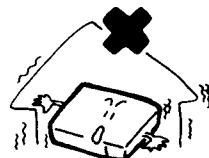
自動通話録音装置(別売)
VR-200
VR-200
VR-200

NTTへ
回線
モジュラージャック
ボタン電話主装置
(またはPBX)
保留音源回路

正しくお使いいただくために

設置場所について

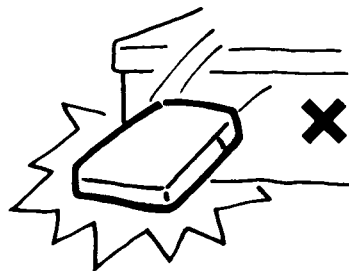
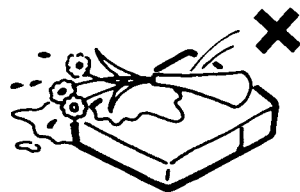
水平で安定した所に設置してください。屋外や次のような場所には、置かないでください。

・直射日光が当たる所
・温度の高い所

・極端に寒い所

・テレビ、アンプなど磁気を帯びた所

・湿気の多い所

・ほこりの多い所

・振動の多い所

この装置は、第一種情報装置(商工業地域において使用されるべき情報装置)で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。
取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

次のことは必ず守ってください

- 分解や改造はしないでください。
  内部をさわると感電、故障の原因になります。内部点検や配線は販売店(電話工事資格者)におまかせください。
- 水やコーヒーなどがかからないように注意してください。
  内部に水などが入ると感電、故障の原因になります。特に本機の上には、コップや花びんなど、絶対に置かないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。

お手入れについて

- アルコールやベンジン等でふかないでください。
  汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤をつけた布を固くしぼってふき、そのあと、からぶきしてください。洗剤をスプレーなどで直接かけることは避けてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品は使わないでください。
  変色や故障の原因になります。

電源について

● 本装置は、AC100Vコンセントに接続して、常時通電した状態でご使用ください。
電源コードを誤って外したりすることがないようご注意ください。

停電補償について

メッセージおよび各種登録内容は、停電状態が続いてもメモリーを保持させるため、バックアップバッテリーを内蔵しております。

■メッセージの停電補償期間

約4日間(7日以上通電時)※

■各種登録内容の停電補償期間

約10日間(7日以上通電時)※

※7日以下の通電で停電になると、各停電補償期間以下の期間でメッセージおよび各種登録内容が消えますのでご注意ください。

■4日以内に停電状態から復旧すると……

本機は、再度使用できる状態となります。(年間タイマーを登録してお使いの場合、引き続き指定のタイマー動作を行います。)

■4日以上の停電状態が続くと……

メッセージが消え、本機は使用できなくなります。メッセージの再録音が必要となります。
(10日以上の停電状態が続いたときは、各種登録内容も消去されますので、同時に再登録が必要です。)

■メッセージまたは各種登録内容が消えたときの表示について

ディスプレイで、次の消去表示をします。この場合、[解除]ボタンを押して消去表示を消したのち、再登録または再録音を行ってください。

(消去表示)
・各種登録内容が消えたとき……………C-1
・メッセージが消えたとき………………C-2

ご使用にあたってのお願い

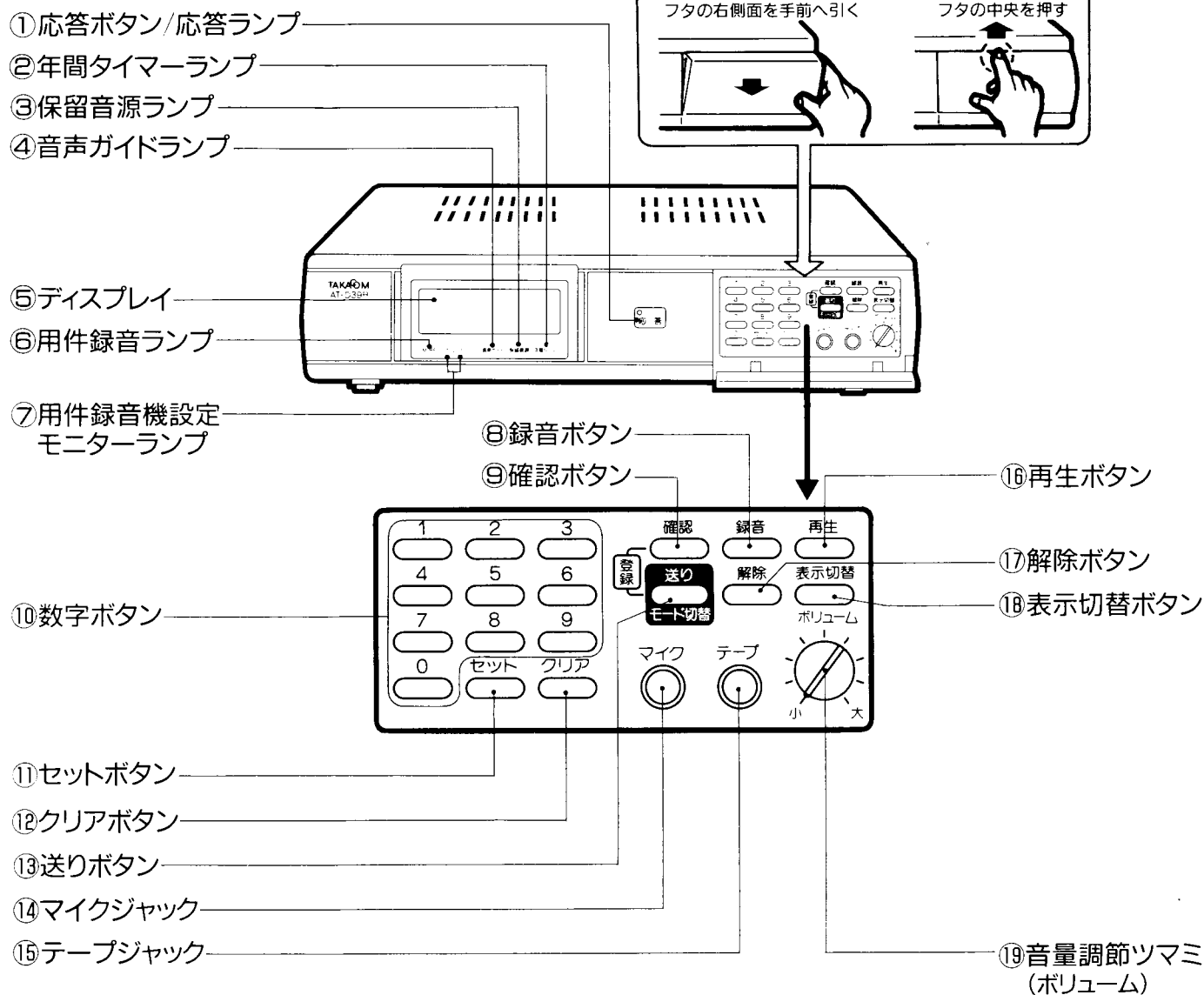
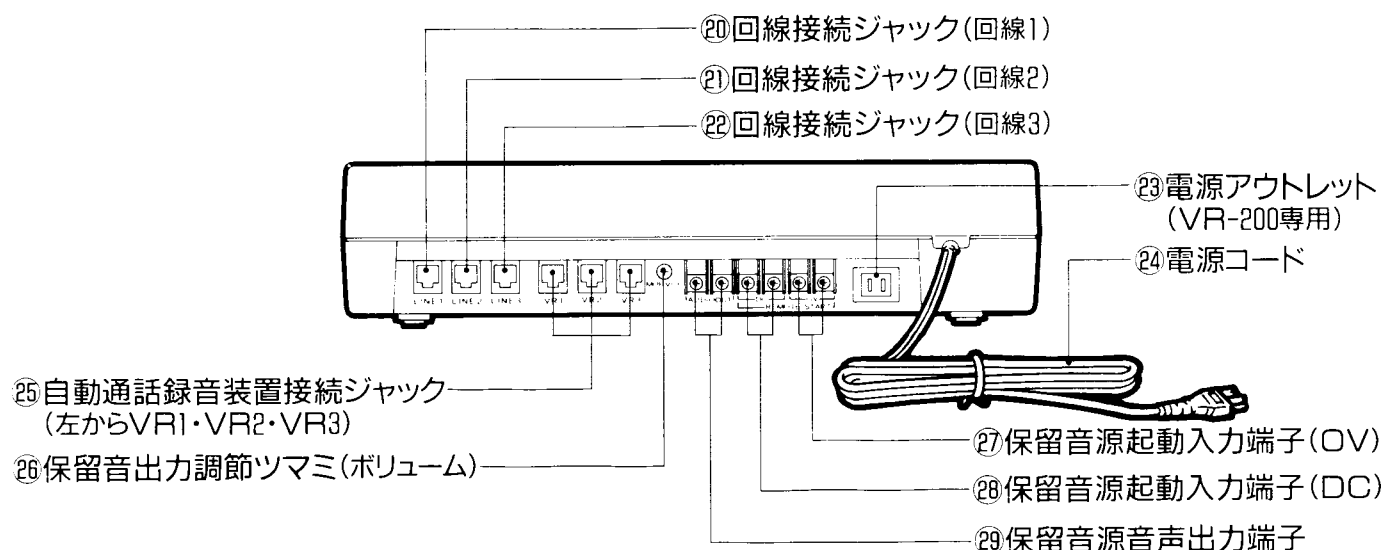
● 本商品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。
ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」**は、不要となります。
詳しくは、**局番なしの116番(無料)**へお問い合わせください。

各部の名前とはたらき

前　面

■パネルのフタを開けるとき
フタの右側面を手前へ引く

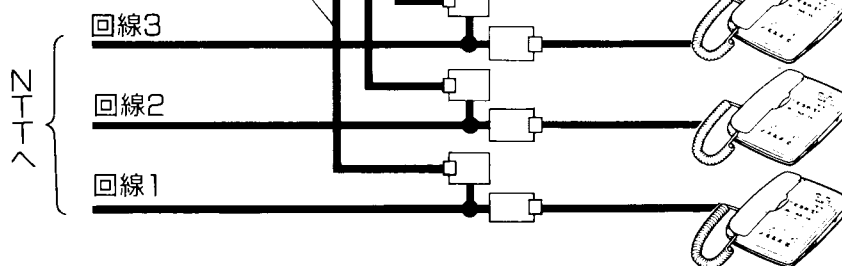
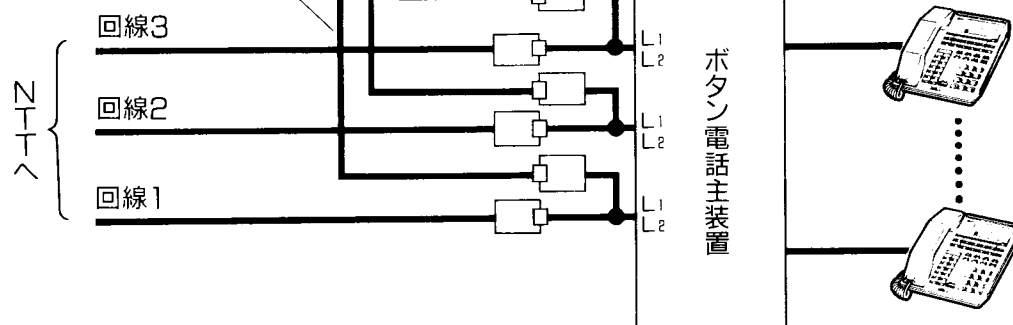
■閉じるとき
フタの中央を押す

①応答ボタン/応答ランプ
②年間タイマーランプ
③保留音源ランプ
④音声ガイドランプ
⑤ディスプレイ
⑥用件録音ランプ
⑦用件録音機設定モニターランプ
⑧録音ボタン
⑨確認ボタン
⑩数字ボタン
⑪セットボタン
⑫クリアボタン
⑬送りボタン
⑭マイクジャック
⑮テープジャック
⑯再生ボタン
⑰解除ボタン
⑱表示切替ボタン
⑲音量調節ツマミ（ボリューム）

①応答ボタン/応答ランプ	本機を応答セットし、使用するときに押します。応答セット中は応答ランプが点灯します。(年間タイマーのセット中は応答ランプが点滅することがあります。)
②年間タイマーランプ	タイマーモードの設定をすると、点灯します。
③保留音源ランプ	保留音源用メッセージ(⑫ch)を録音すると、点灯します。 保留音源用メッセージを送出中は点滅します。
④音声ガイドランプ	音声ガイド機能の設定をすると、点灯します。 (音声ガイドメッセージの送出中はディスプレイ側で表示します。)
⑤ディスプレイ	通常は時計表示や着信回数のカウンタ表示をします。登録中は登録内容を表示したり、録音・再生の操作中は秒数表示などをします。
⑥用件録音ランプ(ICM REC)	用件録音機能の設定をすると、点灯します。
⑦用件録音機設定モニターランプ(左から1、2、3)	用件録音のための自動通話録音装置VR-200を接続し、録音待機状態に設定したときに点灯します。また、用件録音中は点滅します。
⑧録音ボタン	応答メッセージなどを録音するときに押します。
⑨確認ボタン	各種の登録をするときや登録内容を確認するときに押します。
⑩数字ボタン(0~9)	録音・再生・応答セットのときに応答メッセージなどのチャンネル番号を入力したり、各種の登録をするときに押します。
⑪セットボタン	各種の登録のときなどに入力した数字が正しいときに押します。
⑫クリアボタン	各種の登録のときなどに入力した数字を訂正するときに押します。
⑬送りボタン	各種の登録や、マニュアルモードとタイマーモードを切替えるときに押します。
⑭マイクジャック	応答メッセージなどを録音するときに添付のマイクを接続するジャックです。
⑮テープジャック	応答メッセージなどを録音するときにテープレコーダを接続するジャックです。
⑯再生ボタン	応答メッセージなどを再生するときに押します。
⑰解除ボタン	応答セットを解除したり、各種操作中、動作を解除するときに押します。
⑱表示切替ボタン	ディスプレイの表示を時計表示にしたり、着信カウンタ表示に切替えるときに押します。
⑲音量調節ツマミ	応答メッセージなどを再生中、スピーカの音量を調節するときに回します。
⑳回線接続ジャック(回線1) ㉑回線接続ジャック(回線2) ㉒回線接続ジャック(回線3)	電話回線を添付のモジュラーコードで接続するジャックです。 (後面、向かって左から回線1・回線2・回線3の配列です。)
㉓電源アウトレット	自動通話録音装置VR-200の電源コードを接続するためのコンセントです。
㉔電源コード	AC100V電源コンセントへ接続します。
㉕自動通話録音装置接続ジャック(左からVR1、VR2、VR3)	自動通話録音装置VR-200に添付の専用ケーブルにより、接続するジャックです。
㉖保留音出力調節ツマミ(ボリューム)	保留音源用メッセージの音声出力を調節するときに回します。
㉗保留音源(起動入力)端子(0V)	保留音源機能を使用するときにボタン電話または交換機の起動信号(無電圧メーク接点)を接続します。
㉘保留音源(起動入力)端子(DC)	保留音源機能を使用するときにボタン電話または交換機の起動信号(DC電圧)を接続します。
㉙保留音源(音声出力)端子(AUDIO OUT)	保留音源用メッセージの音声出力をボタン電話または交換機の音声端子へ接続します。

◎設置工事は、お買い上げの販売店へご依頼ください。(工事費は別途)

準備1. 電話回線の接続

本機は電話回線に並列(パラレル)に接続します。

■単独電話に接続する場合

■ボタン電話に接続する場合

準備2. 保留音源機能を使用するときの接続

保留音源機能は、電話のシステムがボタン電話または交換機(PBX)の場合で、かつ保留音源回路を内蔵している場合にのみ、ご使用になれます。(単独電話の場合、ご使用になれません。)

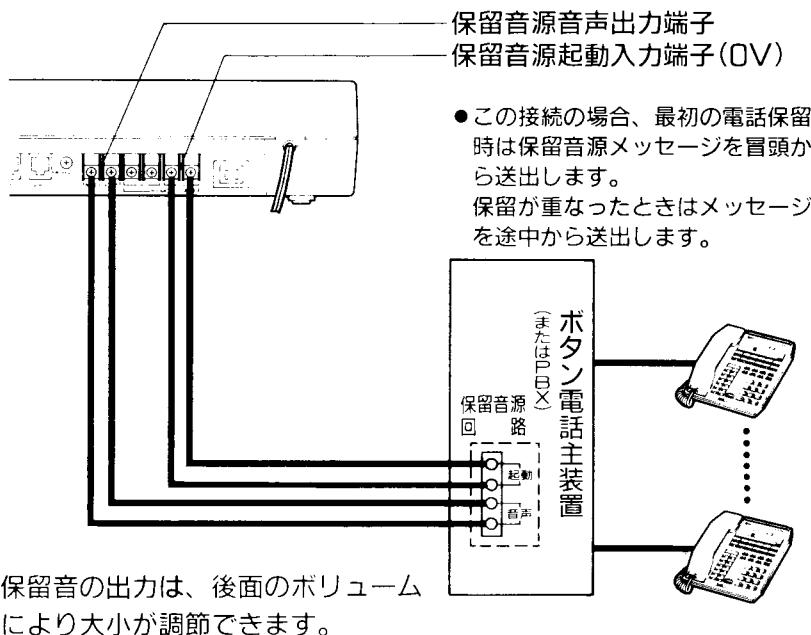
ご注意

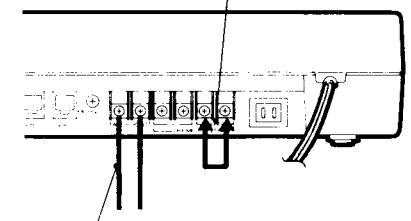
- ボタン電話・交換機(PBX)の定格が下記の場合に、保留音源機能がご使用になれます。接続の前に、お確かめください。

保留音源回路の定格

①保留音源回路に外部への取出し端子があること		
②音声入力端子	入力レベル	0dBm
	適合インピーダンス	8〜600Ω
③起動出力端子(※)	a. 保留時に無電圧メーク接点を出力すること	
	b. 保留時にDC電圧(5〜48V)を出力すること	

※起動出力端子の有・無は、任意条件です。(同端子がない場合でもご使用になれます。)

- この接続の場合、最初の電話保留時は保留音源メッセージを冒頭から送出します。
  保留が重なったときはメッセージを途中から送出します。
- 保留音の出力は、後面のボリュームにより大小が調節できます。

起動出力端子がない場合

- 保留音源起動入力端子(0V)をリード線で短絡してください。

(保留音源音声出力端子は、左図と同様に接続してください。)

- この接続の場合、保留音源メッセージは常時送出しきりとなるため、電話保留時はメッセージを途中から送出します。

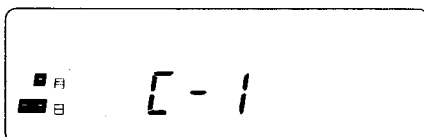
準備3. 音声メモリーユニットの増設

メッセージの録音(可能)時間は、お買い上げ時は約1分(64秒)です。
ご使用になるメッセージの合計が1分を超えるときは、「音声メモリーユニット(4分用)」(別売)の増設が必要となります。「音声メモリーユニット(4分用)」(別売)は、4分単位で、最大3枚(合計録音時間13分)の増設ができます。

準備4. 電源の接続

1 電源プラグをAC100Vコンセントに差込む。

- 「ピピ……」という音が鳴り続きます。
- ディスプレイは C-1 表示となります。

アドバイス

- 解除 ボタンを押すと「ピピ…」という音は止まり、ディスプレイは"----"表示となります。

準備5. 年・月・日、時刻の登録

年・月・日と現在時刻を次の手順で登録してください。
年は西暦の下2桁、月と日は2桁、時刻は4桁(24時間制)で入力します。

[登録例]1995年7月15日、午後2時5分(14時05分)を登録する場合

1 [解除]ボタンを押す。

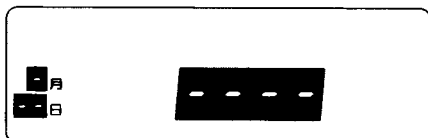
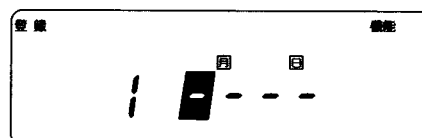
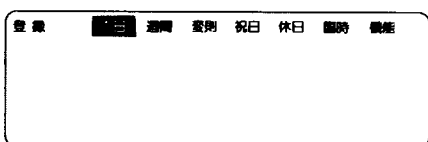
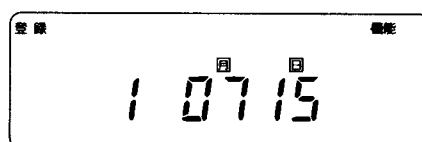
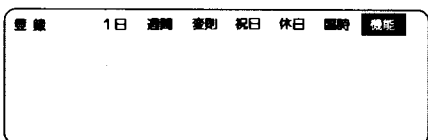
2 [確認]ボタンを押したまま、[送り]ボタンを押す。

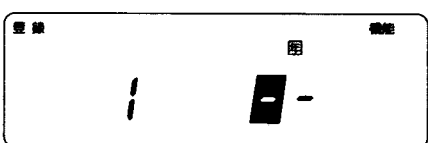
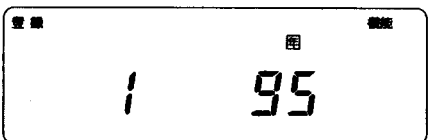
●登録メニューを表示します。

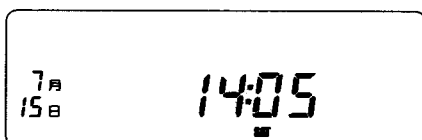
3 [送り]ボタンを繰返し押して、機能表示を選ぶ。

4 [セット]ボタンを押す。

●"年"の入力待ちとなります。

5 [数字]ボタンで、設定したい"年"を入力する。
※例では、9・5と入力する。

6 [送り]ボタンを押す。

●"月・日"の入力待ちとなります。

7 [数字]ボタンで、"月・日"を入力する。
※例では、0・7・1・5の順に押す。

8 [送り]ボタンを押す。

●"時刻"の入力待ちとなります。

9 [数字]ボタンで、現在時刻の1分先を入力する。
※例では、1・4・0・5の順に押す。

10 入力した時刻ちょうどになったときに[セット]ボタンを押す。続いて[解除]ボタンを押す。

●年・月・日と時刻が登録されました。

ご注意

- 時計の誤差は、月差±1分です。使用途中で時刻を修正したいときは、手順**1** からやり直してください。
- 年・月・日、時刻は必ず登録してください。登録をしないと、暗証番号の登録や機能設定など、一切の登録ができません。

応答専用機能の使いかた

●装置の基本的な使いかたを説明しています。

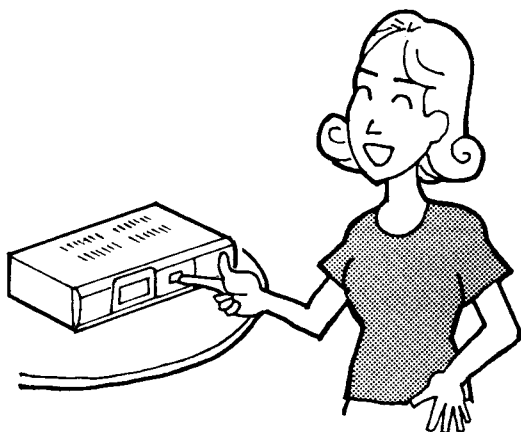
■応答モードについて

応答専用機能は、「マニュアルモード」と「タイマーモード」の2とおりの使いかたができます。

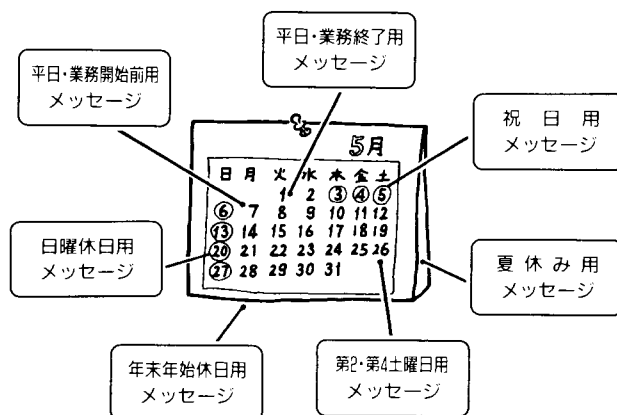
マニュアルモード…………ご使用のたびに、手動で応答セットを行います。

タイマーモード…………年間タイマーを登録しておけば、1年間の行事予定どおり自動的に応答セットをコントロールしてくれます。

マニュアルモード

ご使用のたびに……手動でセット

P.12から、お読みください。

タイマーモード

1年間の行事に合わせて……自動コントロール

P.14から、お読みください。

■9種類の応答メッセージについて

電話がかかってきたとき自動的に送出する応答メッセージは、たとえば、平日用・休日用・祝日用・年末年始休日用など、用途別に9種類を用意することができます。

※応答メッセージの録音(可能)時間は、お買い上げ時は約1分(64秒)です。

ご使用になるメッセージの合計時間が1分を超えるときは、別売・「音声メモリーユニット(4分用)」の増設が必要です。(現在、ご使用の装置の録音(可能)時間は、録音操作中にディスプレイに表示されます。)

1. 応答メッセージを録音する

マニュアルモードでお使いのとき

- **応答メッセージを録音するだけで、すぐにお使いになれます。**
- **平日用・休日用・祝日用など、用途別に複数の応答メッセージを録音しておけば、[数字]ボタンで簡単に送出したいメッセージの選択ができます。**

応答メッセージの録音のしかた

- 応答メッセージを1チャンネルずつ録音するときの方法です。
  録音時のチャンネル指定は、必ず2ケタの数字で指定してください。
  1～9チャンネル→01～09と指定
  10～12チャンネル→10～12と指定

準備

マイクから録音するとき

テープレコーダから録音するとき

再生出力ジャック　テープ

録音コード

※マイクとテープレコーダをミキシング録音する場合は、両方を接続してください。

1

[解除]ボタンを押す。

2

[録音]ボタンを押す。

- 録音残容量を表示します。
- チャンネル番号の入力待ちとなります。

録音残容量

3

録音したいチャンネル番号(2ケタ)を[数字]ボタンで入力する。

※ディスプレイは、0・2(チャンネル)を入力した場合の表示。

4

録音開始

[セット]ボタンを押して、メッセージを録音する。

※テープレコーダから録音するときは、ここで再生状態にする。
- 録音中の経過秒数を表示します。

5

録音終了

録音を終るとき、[解除]ボタンを押す。

続いて、他のチャンネルを録音するときは、再度、手順**1**から操作してください。

応答メッセージの再生のしかた

1

[解除]ボタンを押す。

2

[再生]ボタンを押す。

3

再生したいチャンネル番号(2ケタ)を[数字]ボタンで入力し、[セット]ボタンを押す。

- 応答メッセージがスピーカから聞こえてきます。
- 音量はボリュームにより調節できます。

応答メッセージを消去するとき

- 「応答メッセージの録音のしかた」の手順**1・2**を行い、消去したいチャンネル番号を[数字]ボタンで入力します。
  続いて、[クリア]ボタンを押し、ディスプレイが"-C-"となったら、[セット]ボタンを押すと、「ピー」という音がして消去されます。

便利な使いかた

- 設定により、テープレコーダから自動録音ができます。カセットテープなどに、使用したい全チャンネルの応答メッセージを録音しておけば、「自動録音チャンネルの設定」により、テープレコーダから一度に、すべての応答メッセージの録音をすることができます。
  設定のしかたは45ページをご覧ください。

2. 応答セットをする

応答セットするには

［設定例］定休日用の応答メッセージ（5CH）で応答セットする。

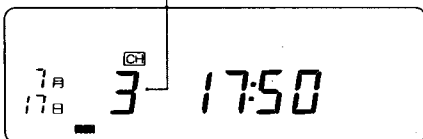
1 応答モードの確認
マニュアルモードに設定されていること（年間タイマーランプが消灯）を確かめる。

年間タイマー　（消灯）

（年間タイマーランプが点灯しているときは、［送り］ボタンを押し、消灯させる。）

2 ［応答］ボタンを押す。
- 応答ランプ点灯。
- ディスプレイには前回使用した応答メッセージのチャンネル番号が表示されます。

応答メッセージのチャンネル番号

7月 17日 CH 3 17:50

3 応答メッセージの送出切替
［数字］ボタンで送出したい応答メッセージのチャンネル番号（1ケタ）を押す。
※例では、5を押す。
- 今入力したチャンネル番号に変わります。

7月 17日 CH 5 17:50

アドバイス
- 応答メッセージの送出切替の必要がないときは、手順**1**・**2**のみ操作してください。

応答セットできないときは…
- **応答メッセージが1つも録音されていないときは、［応答］ボタンを押したとき、ディスプレイはエラー表示（E-2）となり、応答セットはできません。（［解除］ボタンを押すと、エラーは解除されます。）応答メッセージを録音した上で応答セットをやり直してください。**

ご注意
- 応答メッセージの送出切替のとき、録音をしていないチャンネル番号を押すと、「ピピ…」という音が出て応答メッセージのチャンネルの変更はできません。

■応答メッセージの送出指定について
- お買い上げ時は自動応答時に1チャンネルの応答メッセージを送出するように設定されていますが、応答メッセージの送出切替（手順**3**）でチャンネル番号を指定すると、指定したチャンネル番号の応答メッセージに切替わります。

■応答モードの切替について
- お買い上げ時はマニュアルモードに設定されていますが、［送り］ボタンを押すたびにマニュアルモード↔タイマーモードが交互に切替わります。

マニュアルモードに設定されているときは	年間タイマーランプが消灯しています。
タイマーモードに設定されているときは	年間タイマーランプが点灯しています。

応答セットを解除するには

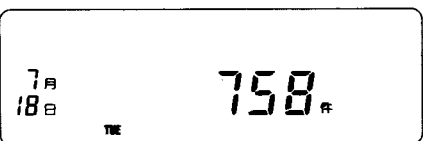
1 ［解除］ボタンを押す。
- 応答ランプ消灯。

着信回数の見かた

- ディスプレイの時計表示を切替えて、着信回数の表示にすることができます。
着信回数は、総着信回数（全回線の合計）と回線ごとの回数の表示とすることができます。

総着信回数の見かた

1 ［表示切替］ボタンを押す。

（例）
- 総着信回数を表示します。

7月 18日 758件

2 時計表示に戻すとき、もう一度、［表示切替］ボタンを押す。

※ディスプレイで表示できる着信回数は最大999万9999回です。
これを超えると、再度、0回からカウントします。

回線ごとの着信回数の見かた

1 総着信回数を表示中（左記のとき）に、［数字］ボタンで回線番号（1〜3のうち1つ）を押し続ける。
- ［数字］ボタンを押している間、回線ごとの着信回数を表示します。

2 時計表示に戻すとき、もう一度、［表示切替］ボタンを押す。

着信回数のクリア（0復旧）のしかた

- 総着信回数を表示中に、［クリア］ボタンを5秒以上押し続ける。（クリアされると「ピー」という音がします。）

1. タイマー動作について

内蔵のプログラムタイマーにより、次のことができます。
- 指定の曜日(月・日)の指定時刻になると、自動的に「応答セット」をしたり「応答解除」ができます。
- 応答セット時のメッセージは、9種類(9チャンネル)を任意に指定できます。
- 1年間を通した指定が可能です。(年間タイマー)

■プログラムの種類とはたらき

プログラム	はたらき
1日パターンプログラム	1日の中で応答セットをする時間帯、送出するメッセージをパターン化する登録です。最大7種類のパターンとすることができます。
週間プログラム	年間の曜日ごとに、どの「1日パターン」でタイマー動作させるかが指定できます。
変則休日プログラム	変則的な休日(例：毎月第2・第4土曜日など)がある場合に、その日をどの「1日パターン」でタイマー動作させるかが指定できます。
祝日プログラム	祝日(年間14日)に、どの「1日パターン」でタイマー動作させるかが指定できます。
休日プログラム	年末年始休日、夏休みなど毎年定期的な行事の月・日に、どの「1日パターン」でタイマー動作させるかが指定できます。

1年間のタイマー動作が決まります ……各プログラムを集約したものが年間タイマーとなります。

■各プログラムの優先順位について

各プログラムには次の優先順位があります。

(優先順位)

"1" 休日プログラム ➡ "2" 祝日プログラム ➡ "3" 変則休日プログラム ➡ "4" 週間プログラム

各プログラムの指定が重なったときは、高順位のプログラムのみタイマー動作をします。

(例1)　週間プログラムと休日プログラムが重なったとき

(週間プログラム)…毎週、月曜日は、業務時間外に平日用メッセージで応答セット
(休日プログラム)…6月3日(月曜日)は、創立記念日のため、休日用メッセージで応答セット

→ タイマー動作：**6月3日は休日用メッセージで応答セット**

(例2)　変則休日プログラムと祝日プログラムが重なったとき

(変則休日プログラム)…毎月、第2・第4土曜日は休日のため、土曜休日用メッセージで応答セット
(祝日プログラム)…1月15日(祝日、第2土曜日)は、祝日用メッセージで応答セット

→ **1月15日は祝日用メッセージで応答セット**

■臨時タイマーについて

年間タイマーの指定以外の特定日に、臨時にタイマー動作を変更することができます。
(詳しくは30ページをご覧ください。)

2. 年間タイマー使用計画

「メッセージ計画表」・「1日パターンプログラム表」・「週間プログラム表」など、添付の各種プログラム表を用意して、以下の手順で、タイマーによる1年間を通した応答専用機能の使用計画をたてます。

■年間タイマー使用計画作業の流れ

1 使用するメッセージの総数を計画する

……1年間のタイマー動作にあわせて、使用したいメッセージの総数、メッセージの内容を計画します。

↓

2 1日のメッセージの送出パターンを計画する

……「1日パターンプログラム表」に、応答セットする時間帯、送出するメッセージをパターン化して記入します。

↓

3 平日のタイマー動作を計画する

……「週間プログラム表」に、曜日ごとに、どの「1日パターン」でタイマー動作させるかを記入します。

↓

4 変則休日のタイマー動作を計画する

……変則的な休日に、どの「1日パターン」でタイマー動作させるかを「変則休日プログラム表」へ記入します。（変則休日がない場合は、"**5**"へ進む）

↓

5 祝日のタイマー動作を計画する

……祝日（年間14日）に、どの「1日パターン」でタイマー動作させるかを「祝日プログラム表」へ記入します。

↓

6 休日のタイマー動作を計画する

……年末年始休日、夏休みなどの毎年の定期的な行事日に、どの「1日パターン」でタイマー動作させるかを記入します。

↓

「3.年間タイマー登録」（P.20）へ進む

お願い

- **タイマーモードでお使いの場合、年間タイマー登録に従って応答専用機能が働きますが、行事の変更等でセットミスのないように、定期的に登録内容と行事予定の照合をされることをおすすめします。**

2. 年間タイマー使用計画

下記の設定例に基づいて、年間タイマーの使用計画のたてかたを説明します。

設定例　△△株式会社の1年間の業務予定

業　務　予　定	計画するプログラム

■営業日時および休日

①営業時間：月曜日～金曜日　9:00～17:30
　　　　　　第1・第3・第5土曜日　9:00～12:00 ……週間プログラム
②休　日：日曜日 ……週間プログラム
　　　　　第2・第4土曜日……変則休日プログラム
　　　　　国民の祝日（年間14日）(※)……祝日プログラム
　　　　　夏　休　み（8月13日～8月17日）
　　　　　年末年始休日（12月29日～1月4日）……休日プログラム

※ただし、成人の日(1月15日)は特別出社日とする。

メッセージ1(1CH)…………**平日・業務開始前案内**
「お早ようございます。ただ今、業務時間外でございます。……」
メッセージ2(2CH)…………**平日・業務終了案内**
「あいにく、本日は業務を終了いたしました。……」
メッセージ3(3CH)…………**休日案内(第2、第4土曜日用)**
「毎月、第2・第4土曜日は休ませていただいております。……」
メッセージ4(4CH)…………**休日案内(日曜・祝日用)**
「日曜・祝日は休ませていただいております。……」
メッセージ5(5CH)…………**夏休み案内**
「8月13日から8月17日まで夏休みでございます。……」
メッセージ6(6CH)…………**年末年始休日案内**
「12月29日から1月4日まで休ませていただいております。……」
メッセージ7(7CH)…………**休日案内(社員旅行)**
「10月7日、8日は社員旅行のため、休ませていただいております。……」

2-1. メッセージ計画表の作成

●1年間を通して、使用したい応答メッセージの総数を決めて、「メッセージ計画表」へ記入してください。
最大9種類(9チャンネル)が設定できます。

[**記入例**]
●設定例(上記)は右のようになります。

Ⓐ**メッセージ計画表**　'95 年用　ディジタル方式 3回線自動応答装置 AT-D39R

チャンネル番号	メッセージ(用途)	録音時間	チャンネル番号	メッセージ(用途)	録音時間
1CH	平日・業務開始前案内	37秒	7CH	休日(社員旅行)案内	25秒
2CH	平日・業務終了案内	18秒	8CH	予備	50秒
3CH	休日(第2・第4土曜日)案内	23秒	9CH		秒
4CH	休日(日曜・祝日)案内	38秒	10CH	用件録音機能使用時のお待たせ案内用	秒
5CH	休日(夏休み)案内	22秒	11CH	用件録音機能使用時の録音満杯応答用メッセージ	秒
6CH	休日(年末年始)案内	23秒	12CH	保留音源用(　　　)	秒

●メッセージを用途別に記入
●各メッセージの録音時間(長さ)の概算値を記入。

2-2. 1日のメッセージの送出パターンを計画する

最初に「1日パターン計画用紙」に、応答専用機能を使用する時間帯、送出したい応答メッセージのチャンネル番号をパターン化して記入してください。(最大７種類のパターンが作れます。)

続いて、「1日パターン計画用紙」の内容を「1日パターン・プログラム表」に書き写します。

[記入例]

●停止させるときは、メッセージの項に"0"を記入。

1日パターン計画用紙

時刻
0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

1: 00:00 1 CH 09:00 停止 17:30 2 CH 24:00
2: 1 CH 09:00 停止 12:00 2 CH
3: 3 CH
4: 4 CH
5: 5 CH
6: 6 CH
7: 7 CH

Ⓑ1日パターン・プログラム表

No.	1日パターン番号	メッセージ(CH)	切替時刻 時	分
1	1	1	00	00
2	1	0	09	00
3	1	2	17	30
4	2	1	00	00
5	2	0	09	00
6	2	2	12	00
7	3	3	00	00
8	4	4	00	00
9	5	5	00	00
10	6	6	00	00
11	7	7	00	00
12				

No.	1日パターン番号	メッセージ(CH)	切替時刻 時
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

●1日パターン・プログラム表に記入時には、24時に停止させる指定の記入は不要です

●送出させるメッセージのチャンネル番号を記入

●24時間制の時刻を４桁で記入。(切替時刻は最大35種類設定できます。)

2-3. 平日のタイマー動作を計画する

● 1週間の曜日ごとに、「1日パターン・プログラム表」の、どの1日パターンでタイマー動作させるかを決めて、「週間プログラム表」に記入してください。

[記入例]

■ 設定例(P.16)を計画すると、次のようになります。

(応答専用機能を使用しない曜日がある場合、その曜日は"0"を記入してください。)

2-4 . 変則休日のタイマー動作を計画する

●変則的な休日(例：毎月の第2・第4土曜日休日など)がある場合に、その日にどの1日パターンでタイマー動作させるかを決めて、「変則休日プログラム表」に記入してください。
変則休日は2種類が指定できます。

[記入例]

■ 設定例(P.16)では……
毎月、第2・第4土曜日は休日で、3CHのメッセージを送出する。

→1日パターン番号は"3"です。

2-5. 祝日のタイマー動作を計画する

● 祝日（年間14日）に、どの１日パターンでタイマー動作させるかを決めて「祝日プログラム表」に記入してください。

［**記入例**］ ■ 設定例（P. 16）を計画すると、次のようになります。

Ⓔ祝日プログラム表

'95 年用　ディジタル方式 3回線自動応答装置 AT-D39R

No.	祝日	月	日	1日パターン番号	振替休日 する	振替休日 しない	No.	祝日	月	日	1日パターン番号	振替休日 する	振替休日 しない
1	元日	01	01	4	1	⓪	8	こどもの日	05	05	4	①	0
2	成人の日	01	15	—	1	0	9	敬老の日	09	15	4	①	0
3	建国記念の日	02	11	4	①	0	10	秋分の日	09	23	4	①	0
4	春分の日	03	21	4	①	0	11	体育の日	10	10	4	①	0
5	みどりの日	04	29	4	①	0	12	文化の日	11	03	4	①	0
6	憲法記念日	05	03	4	①	0	13	勤労感謝の日	11	23	4	①	0
7	国民の休日	05	04	4	①	0	14	天皇誕生日	12	23	4	①	0

● １日パターン番号を記入

● 設定例では、成人の日は特別出社日のため、祝日扱いをしないので棒線を記入

● 祝日と日曜日が重なったときの振替休日を祝日と同じ扱い（同じ１日パターン番号）とするか、しないかを記入

ご注意 ● 新たな祝日が制定された場合は、次項の「休日プログラム表」の空欄に月・日を記入し、上記と同じように内容を決めて記入してください。

2-6. 休日のタイマー動作を計画する

● 夏休みや年末年始休日など、毎年同じ月・日の休日に、どの1日パターンでタイマー動作させるかを決めて「休日プログラム表」に記入してください。
最大12日ぶんの休日が設定できます。

［**記入例**］ ■ 設定例（P. 16）を計画すると、次のようになります。

Ⓕ休日プログラム表

No.	1日パターン番号	振替休日 する	振替休日 しない	休日 月	休日 日	備考	No.	1日パターン番号	振替休日 する	振替休日 しない	休日 月	休日 日	備考
1	5	1	⓪	08	13		7	6	1	⓪	12	30	
2	5	1	⓪	08	14	夏休み	8	6	1	⓪	12	31	
3	5	1	⓪	08	15		9	6	1	⓪	01	01	年末年始
4	5	1	⓪	08	16		10	6	1	⓪	01	02	休日
5	5	1	⓪	08	17		11	6	1	⓪	01	03	
6	6	1	⓪	12	29		12	6	1	⓪	01	04	

● 休日の内容別に、1日パターン番号を記入

● 振替休日"しない"を○印で囲む
（振替休日"する"の項は、新たな祝日が制定されたときに使用します。）

● 休日の月・日を4ケタで記入

3. 年間タイマー登録

3-1. 1日パターンプログラムの登録

●「1日パターン・プログラム表」(P. 17)をもとに登録します。

［登録例］

Ⓑ 1日パターン・プログラム表

No.	1日パターン番号	メッセージ(CH)	切替時刻 時	切替時刻 分	No.	1日パターン番号	メッセージ(CH)	切替時刻 時
1	1	1	00	00	13			
2	1	0	09	00	14			

■新規の登録

1 ［解除］ボタンを押す。

2 ［確認］ボタンを押したまま、［送り］ボタンを押す。

●登録メニューを表示します。

3 1日 が点滅表示のまま、［セット］ボタンを押す。

●1日パターン番号の入力待ちとなります。

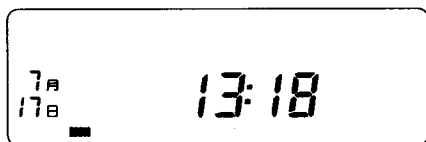
4 1日パターン番号の入力

設定したい1日パターン番号を［数字］ボタンで入力する。

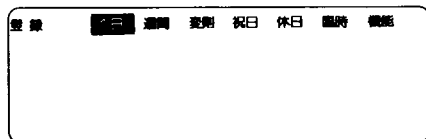
※例では、1を押す。
●CH番号の入力待ちとなります。

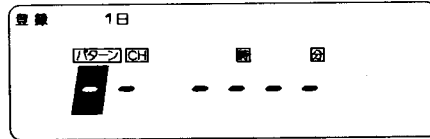
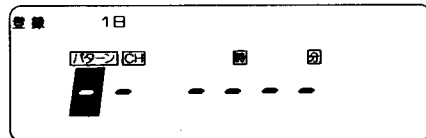
5 CH番号の入力

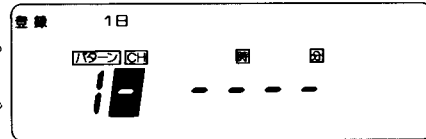
CH番号を［数字］ボタンで入力する。

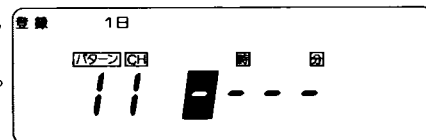
※例では、1を押す。
●切替時刻の入力待ちとなります。

6 時刻の入力

切替時刻を［数字］ボタンで入力する。

※例では、0・0・0・0の順に押す。

7 ［セット］ボタンを押す。

●1つ目が登録されました。
●次の登録値の入力待ちとなります。

8 続いて、手順**4**～**6**と同じ要領で2つ目の登録値を入力し、［セット］ボタンを押す。

※例では、1・0・0・9 0・0・［セット］の順に押す。

9 以下、手順**4**～**7**と同じ要領ですべての登録を行う。

●登録数が35未満のときは、右の未登録表示となります。（満杯の35のときは登録メニュー表示）

10 ■続いて他のプログラムを登録するとき

➡（未登録表示のとき）［セット］ボタンを押す。（※1）

●登録メニューの表示となりますので、他のプログラムの手順**3**へ移行できます。※1. 登録メニュー表示のときは不要

■登録を終るとき

➡［解除］ボタンを押す。

●時計表示となります。

■登録内容の変更／消去／追加

1. 「新規の登録」と同様に手順**1**・**2**・**3**を操作すると、現在の登録内容の1つ目が表示されます。続いて、［セット］ボタンを押すたびに、2つ目以降が順番に表示されます。
2. 変更／変更したい登録内容を表示中に、手順**4**～**6**と同じ要領で新しい数値を入力し、［セット］ボタンを押す。
   消去／消去したい登録内容を表示中に、［クリア］ボタンを押しディスプレイが"-［-"の表示となったら、［セット］ボタンを押す。
   追加／［セット］ボタンを繰返し押して、未登録表示"-- ----"となったら、手順**4**～**6**と同じ要領で追加したい数値を入力し、［セット］ボタンを押す。
3. 操作を終るとき、［解除］ボタンを押す。

3-2. 週間プログラムの登録

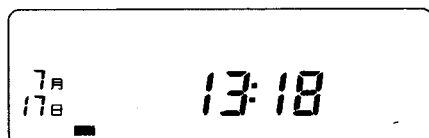
●「週間プログラム表」(P.18)をもとに登録します。

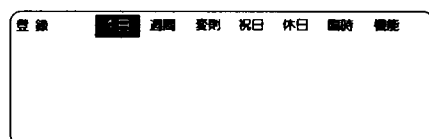
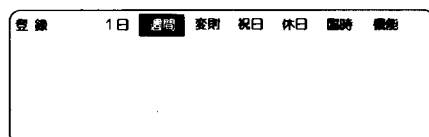
[登録例]

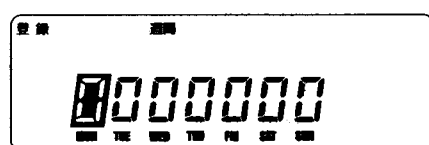
©週間プログラム表

曜日	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT	日 SUN
1日パターン番号	1	1	1	1	1	2	4

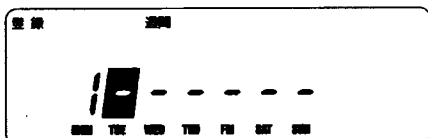
■新規の登録

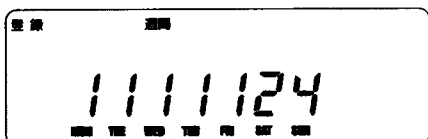
1 [解除]ボタンを押す。

2 [確認]ボタンを押したまま、[送り]ボタンを押す。

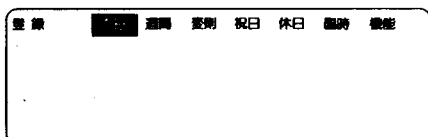
●登録メニューを表示します。

3 [送り]ボタンを押して、週間表示を選ぶ。

4 [セット]ボタンを押す。

●月曜日の1日パターン番号の入力待ちとなります。

5 1日パターン番号の入力

設定したい月曜日の1日パターン番号を[数字]ボタンで入力する。

※例では、1を押す。
●火曜日の入力待ちとなります。

6 以下、手順**5**と同じ要領で、すべての曜日に1日パターン番号を入力する。

※例では、続いて1・1・1・1・2・4の順に押す。

7 入力値が正しいことを確かめて、[セット]ボタンを押す。

●登録メニューの表示に戻ります。

8 **■続いて他のプログラムを登録するとき**
➡登録メニューの表示をしていますので、他のプログラムの手順**3**へ移行できます。

■登録を終るとき
➡[解除]ボタンを押す。
●時計表示となります。

■登録内容の変更

1. 「新規の登録」と同様に手順**1**・**2**・**3**・**4**を操作すると、現在の登録内容が表示されます。
2. 手順**5**～**6**と同じ要領で月曜日(MON)から順番に1日パターン番号を入力し、すべての曜日を入力したら[セット]ボタンを押す。(特定の曜日のみ変更する場合も、すべての曜日を再入力してください。)
3. 操作を終るとき、[解除]ボタンを押す。

登録中のご注意

●登録中に2分以上何のキー入力もないときは、解除の状態となります。この場合は手順**1**からやり直してください。
●数字入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して最初から数字を入れ直してください。

3-3. 変則休日プログラムの登録

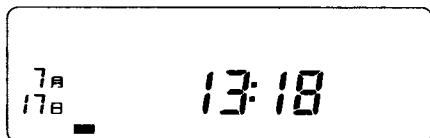
●「変則休日プログラム表」(P.18)をもとに登録します。

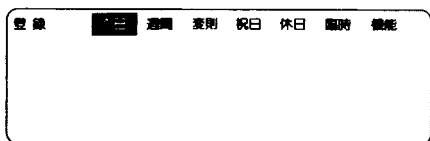
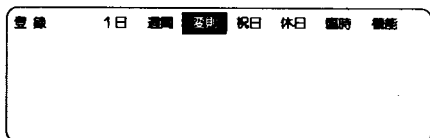
[登録例]

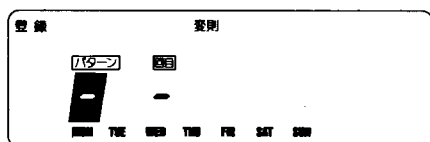
Ⓓ変則休日プログラム

No.	1日パターン番号	変則休日
1	3	第2回目土曜日
2	3	第4回目土曜日

■新規の登録

1 [解除]ボタンを押す。

2 [確認]ボタンを押したまま、[送り]ボタンを押す。

●登録メニューを表示します。

3 [送り]ボタンを繰返し押して、**変則**表示を選ぶ。

4 [セット]ボタンを押す。

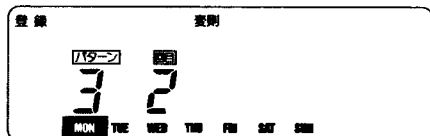
●1日パターン番号の入力待ちとなります。

5 1日パターン番号の入力

設定したい1日パターン番号を[数字]ボタンで入力する。

※例では、3を押す。
●週番号(回目)の入力待ちとなります。

6 週番号(回目)の入力

設定したい週番号(毎月、何回目の曜日かの番号)を[数字]ボタンで押す。

※例では、2を押す。
●曜日の入力待ちとなります。

7 曜日の入力

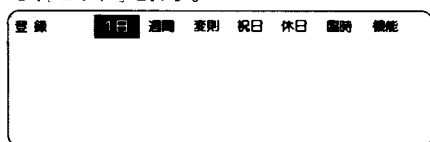
[送り]ボタンで、設定したい曜日を選ぶ。

※例では、SATを選ぶ。

8 入力値が正しいことを確認し、[セット]ボタンを押す。

●次の登録値の入力待ちとなります。

9 手順**5**～**8**と同じ要領で、2つ目の変則休日を登録する。 ※例では、3・4を押し、[送り]ボタンでSATを選び、[セット]を押す。

●登録メニューの表示に戻ります。

10 **■続いて他のプログラムを登録するとき**

➡登録メニューの表示をしていますので、他のプログラムの手順**3**へ移行できます。

■登録を終るとき

➡[解除]ボタンを押す。

●時計表示となります。

■登録内容の変更／消去／追加

1. 「新規の登録」と同様に手順**1**・**2**・**3**・**4**を操作すると、現在の登録内容の1つ目が表示されます。
   (1つ目を表示中に、[セット]ボタンを押すと、2つ目が表示されます。)
2. 変更／変更したい登録内容を表示中に、手順**5**～**8**と同じ要領で新しい内容に変更します。
   消去／消去したい登録内容を表示中に、[クリア]ボタンを押しディスプレイが"-[-"となったら、[セット]ボタンを押す。
   追加／(2つ目を表示させたとき、未登録表示"- -"となる場合のみ追加登録できます。)
   未登録表示中、手順**5**～**8**と同じ要領で追加登録します。
3. 操作を終るとき、[解除]ボタンを押す。

3-4. 祝日プログラムの登録

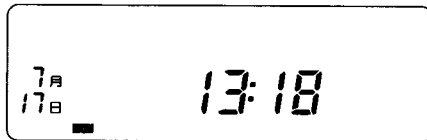
●「祝日プログラム表」(P.19)をもとに登録します。

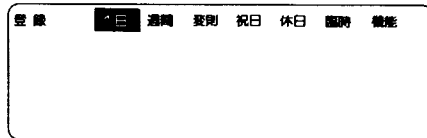
[登録例]

ⓔ祝日プログラム表

No.	祝日	月	日	1日パターン番号	振替休日 する	振替休日 しない
1	元日	01	01	4	1	(0)
2	成人の日	01	15	—	1	0
3	建国記念の日	02	11	4	(1)	0

■新規の登録

1 [解除]ボタンを押す。

2 [確認]ボタンを押したまま、[送り]ボタンを押す。

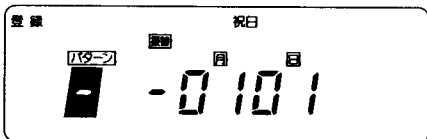
●登録メニューを表示します。

3 [送り]ボタンを繰返し押して、**祝日** 表示を選ぶ。

4 [セット]ボタンを押す。

●1年間の祝日の1月1日から表示されます。

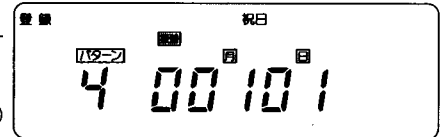
5 1日パターン番号の入力

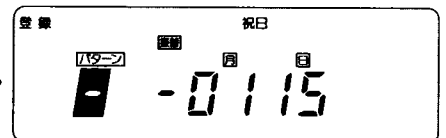
該当の月・日に、設定したい1日パターン番号を[数字]ボタンで入力する。

※例では、4を押す。

●振替休日の入力待ちとなります。

6 振替休日の入力

該当の月・日が日曜日と重なったときに振替休日にする、しないを指定する。

※例では、0(しない)を押す。

7 入力値が正しいことを確認し、[セット]ボタンを押す。

●2つ目の祝日の1月15日の入力待ちとなります。

8 以下、手順**5**～**7**と同じ要領で、順番に1年間の祝日プログラムを登録する。

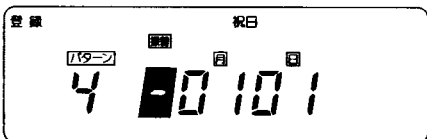
●すべての登録が終ると、登録メニューの表示に戻ります。

9 **■続いて他のプログラムを登録するとき**

➡登録メニューの表示をしていますので、他のプログラムの手順**3**へ移行できます。

■登録を終るとき

➡[解除]ボタンを押す。

●時計表示となります。

祝日扱いをしたくないときは…

●特定の祝日を祝日プログラムで指定したくないときは、該当の祝日の月・日を表示中に、1日パターン番号を入力せずに(■表示のまま)、[セット]ボタンを押してください。

●登録したあとで祝日扱いをやめたいときは、該当日を表示中に登録内容を消去してください。

■登録内容の変更／消去

1. 「新規の登録」と同様に手順**1**・**2**・**3**・**4**を操作すると、現在の登録内容の1つ目が表示されます。
   続いて、[セット]ボタンを押すたびに、2つ目以降が順番に表示されます。
2. 変更／変更したい登録内容を表示中に、手順**5**～**6**と同じ要領で新しい数値を入力し、[セット]ボタンを押す。
   消去／消去したい登録内容を表示中に、[クリア]ボタンを押しディスプレイが"-[-"の表示となったら、[セット]ボタンを押す。
3. 操作を終るとき、[解除]ボタンを押す。

3-5. 休日プログラムの登録

●「休日プログラム表」(P. 19)をもとに登録します。

[登録例]

Ⓕ休日プログラム表

No.	1日パターン番号	振替休日 する	振替休日 しない	休日 月	休日 日	備考
1	5	1	⓪	0 8	1 3	
2	5	1	⓪	0 8	1 4	夏休み
				0	1 5	

■新規の登録

1 [解除]ボタンを押す。

2 [確認]ボタンを押したまま、[送り]ボタンを押す。

●登録メニューを表示します。

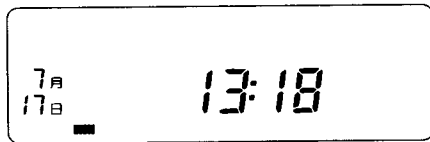
3 [送り]ボタンを繰返し押して、休日表示を選ぶ。

4 [セット]ボタンを押す。

●1日パターン番号の入力待ちとなります。

5 1日パターン番号の入力

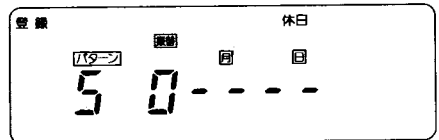
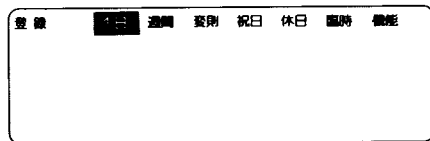
設定したい1日パターン番号を[数字]ボタンで入力する。

※例では、5を入力する。

●振替休日の入力待ちとなります。

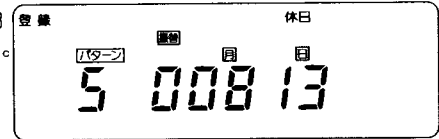
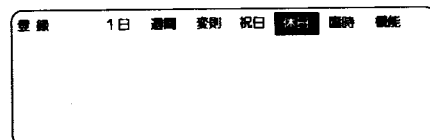
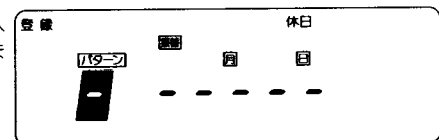
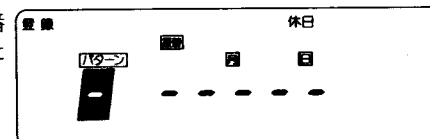
6 振替休日の入力

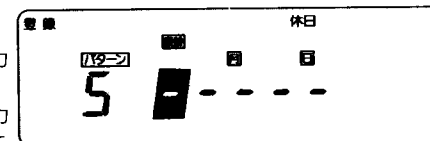
特別な場合(※1)を除き、数字ボタンで0を押す。

●休日(月・日)の入力待ちとなります。

(※1)祝日を登録する場合(➡P. 19)

7 休日(月・日)の入力

設定したい月・日を[数字]をボタンで入力する。

※例では、0・8・1・3の順に入力する。

8 入力値が正しいことを確認し、[セット]ボタンを押す。

●次の登録値の入力待ちとなります。

9 以下、手順**5**～**8**と同じ要領で、順番に1年間の休日プログラムを登録する。

●登録数が12未満のときは、右の未登録表示となります。(満杯の12のときは登録メニュー表示)

10 ■続いて他のプログラムを登録するとき

➡(未登録表示のとき)[セット]ボタンを押す。(※2)

●登録メニューの表示となりますので、他のプログラムの手順**3**へ移行できます。※2. 登録メニュー表示のときは不要

■登録を終るとき

➡[解除]ボタンを押す。

●時計表示となります。

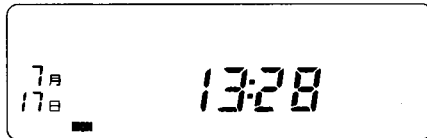
■登録内容の変更／消去／追加

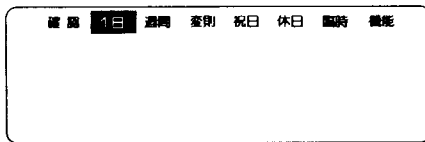
1. 「新規の登録」と同様に手順**1**・**2**・**3**・**4**を操作すると、現在の登録内容の1つ目が表示されます。
   続いて、[セット]ボタンを押すたびに、2つ目以降が順番に表示されます。
2. 変更　変更したい登録内容を表示中に、手順**5**～**7**と同じ要領で新しい数値を入力し、[セット]ボタンを押す。
   消去　消去したい登録内容を表示中に、[クリア]ボタンを押しディスプレイが"-[-"の表示となったら、[セット]ボタンを押す。
   追加　[セット]ボタンを繰返し押して、未登録表示"- -----"となったら、手順**5**～**7**と同じ要領で追加したい数値を入力し、[セット]ボタンを押す。
3. 操作を終るとき、[解除]ボタンを押す。

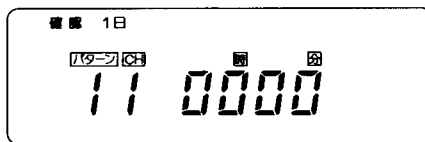
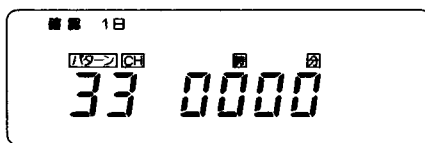
3-6. 登録内容の確認

●各プログラムの登録内容は、ディスプレイで確認することができます。

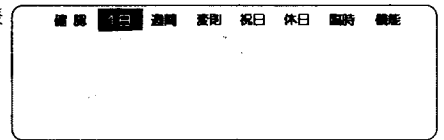
■1日パターン・プログラムの確認

1 [解除]ボタンを押す。

2 [確認]ボタンを押す。

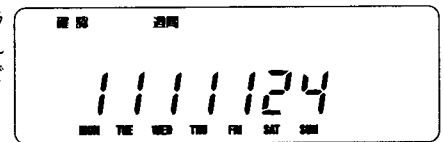
●確認メニュー表示となります。

3 1日の点滅表示のまま、[セット]ボタンを押す。

●「1日パターンプログラム」の1つ目が表示されますので確認できます。

4 以下、[送り]ボタンを押すたびに、順番に登録内容が表示されますので確認することができます。

■確認を終るとき
➡[解除]ボタンを押す。

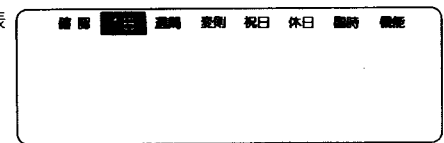
■週間プログラムの確認

1 「1日パターン・プログラムの確認」と同様に手順**1**・**2**を行うと……

●確認メニュー表示となります。

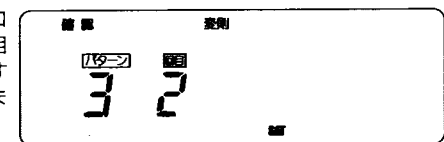
2 [送り]ボタンで週間表示を選び、[セット]ボタンを押す。

●「週間プログラム」が、表示されますので確認できます。

■確認を終るとき
➡[解除]ボタンを押す。

■変則休日プログラムの確認

1 「1日パターン・プログラムの確認」と同様に手順**1**・**2**を行うと……

●確認メニュー表示となります。

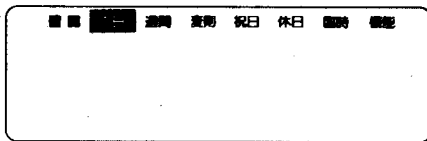
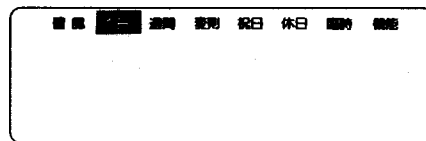
2 [送り]ボタンで変則表示を選び、[セット]ボタンを押す。

●「変則休日プログラム」の1つ目が表示されますので確認できます。

3 [送り]ボタンを押す。

●「変則休日プログラム」の2つ目が表示されますので確認できます。

■確認を終るとき
➡[解除]ボタンを押す。

■祝日プログラムの確認

1 「1日パターン・プログラムの確認」と同様に手順**1**・**2**を行うと……

●確認メニュー表示となります。

2 [送り]ボタンで祝日表示を選び、[セット]ボタンを押す。

●「祝日プログラム」の1つ目が表示されますので確認できます。

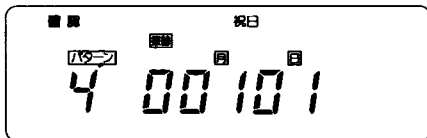
3 以下、[送り]ボタンを押すたびに、順番に登録内容が表示されますので確認することができます。

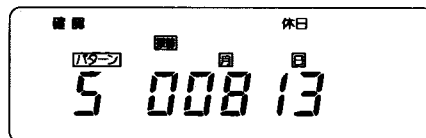
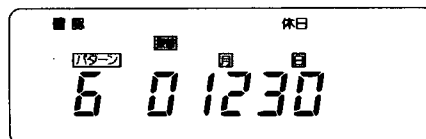
■確認を終るとき

➡[解除]ボタンを押す。

■休日プログラムの確認

1 「1日パターン・プログラムの確認」と同様に手順**1**・**2**を行うと……

●確認メニュー表示となります。

2 [送り]ボタンで休日表示を選び、[セット]ボタンを押す。

●「休日プログラム」の1つ目が表示されますので確認できます。

3 以下、[送り]ボタンを押すたびに、順番に登録内容が表示されますので確認することができます。

■確認を終るとき

➡[解除]ボタンを押す。

確認中のご注意

●確認中に2分以上何のキー入力もないときは、解除の状態となります。この場合は手順**1**からやり直してください。

4. 応答メッセージの録音

●「メッセージ計画表」(P. 16)をもとに、応答メッセージの録音を行います。

Ⓐメッセージ計画表　'95 年用　ディジタル方式 3回線自動応答装置 AT-D39R

チャンネル番号	メッセージ(用途)	録音時間	チャンネル番号	メッセージ(用途)	録音時間
1 CH	平日・業務開始前案内	37秒	7 CH	休日(社員旅行)案内	25秒
2 CH	平日・業務終了案内	18秒	8 CH	予備	50秒
3 CH	休日(第2・第4土曜日)案内	23秒	9 CH		秒

応答メッセージの録音のしかた

●応答メッセージを1チャンネルずつ録音するときの方法です。
録音時のチャンネル指定は、必ず2ケタの数字で指定してください。
1～9チャンネル→01～09と指定
10～12チャンネル→10～12と指定

準備

マイクから録音するとき

テープレコーダから録音するとき

※マイクとテープレコーダをミキシング録音する場合は、両方を接続してください。

1 [解除]ボタンを押す。

2 [録音]ボタンを押す。

●録音残容量を表示します。
●チャンネル番号の入力待ちとなります。

3 録音したいチャンネル番号(2ケタ)を[数字]ボタンで入力する。

※ディスプレイは、0・2(チャンネル)を入力した場合の表示。

4 録音開始
[セット]ボタンを押して、メッセージを録音する。

※テープレコーダから録音するときは、ここで再生状態にする。
●録音中の経過秒数を表示します。

5 録音終了
録音を終るとき、[解除]ボタンを押す。

→ 続いて、他のチャンネルを録音するときは、再度、手順**1**から操作してください。

応答メッセージの再生のしかた

1 [解除]ボタンを押す。

2 [再生]ボタンを押す。

3 再生したいチャンネル番号(2ケタ)を[数字]ボタンで入力し、[セット]ボタンを押す。

●応答メッセージがスピーカから聞こえてきます。
●音量はボリュームにより調節できます。

応答メッセージを消去するとき

●「応答メッセージの録音のしかた」の手順**1**・**2**を行い、消去したいチャンネル番号を[数字]ボタンで入力します。
続いて、[クリア]ボタンを押し、ディスプレイが"-[-"となったら、[セット]ボタンを押すと、「ピー」という音がして消去されます。

便利な使いかた

●設定により、テープレコーダから自動録音ができます。カセットテープなどに、使用したい全チャンネルの応答メッセージを録音しておけば、「自動録音チャンネルの設定」により、テープレコーダから一度に、すべての応答メッセージの録音をすることができます。
設定のしかたは45ページをご覧ください。

5. 年間タイマーのセット

年間タイマーセットをするには

●年間タイマーにより、応答専用機能を使用するときは、次のタイマーセットを行います。

準備

●年間タイマー登録(P.20～P.26)を行う。
●応答メッセージの録音(P.27)を行う。

1 応答モードの切替

[送り]ボタンを押し、年間タイマーランプを点灯させる。
(すでに年間タイマーランプが点灯しているときは、手順**2**へ進む。)

2 タイマーセット

[応答]ボタンを押す。

●応答ランプ点灯または点滅。
点灯：年間タイマーの指定が「応答セット」の時間帯のとき。
点滅：年間タイマーの指定が「停止」の時間帯のとき。

年間タイマーの登録内容に従って動作します。

タイマーセットできないときは…

●応答ボタンを押したとき、次のような不具合な点があると、ディスプレイはエラー表示となり、タイマーセットはできません。このときは、各プログラムの登録内容や応答メッセージの録音内容を確認し修正の上、再度、タイマーセットしてください。

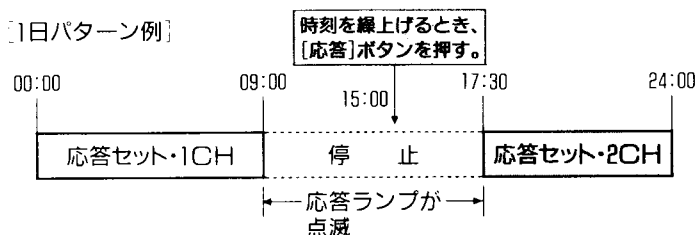
①1日パターンプログラムと他のプログラムの登録内容に不具合があります。……(エラー表示) E-1
②年間タイマーの登録の中で指定した応答メッセージのチャンネルが未録音です。……E-2
(詳しくは、47ページ・「エラー表示について」をご覧ください。)

応答モードの切替について

●お買い上げ時はマニュアルモードに設定されていますが、[送り]ボタンを押すたびにマニュアルモード↔タイマーモードが交互に切替わります。

マニュアルモードに設定されているときは	**年間タイマーランプが消灯しています。**
タイマーモードに設定されているときは	**年間タイマーランプが点灯しています。**

便利な使いかた 応答セットの時刻を繰上げることができます。

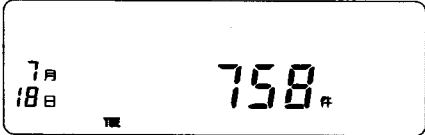
●年間タイマーのセットをして使用中、「停止」の指定をした時間帯は応答ランプが点滅を続けます。
この場合、下図のように「停止」の指定の時間帯以降(当日中※)に「応答セット」の指定が登録されているときは、これを繰上げることができます。

(※)翌日以降まで「応答セット」の指定の登録がないときは、「応答セット」を繰上げることはできません。

操作

1 応答ランプが点滅中…
[応答]ボタンを押す。

●応答ランプが点灯します。
●当日に限り、予定の時刻が繰上がり応答セットされます。
(下図の例では、15時00分に[応答]ボタンを押すと、17時30分に応答セット・2CHの予定が繰上がり、セットされます。)

■時刻の繰上げを取消すときは
➡[解除]ボタンを押し、[応答]ボタンを押す。

●再度タイマーセットされ、応答ランプは点滅します。

年間タイマーセットを解除するとき

1 ［解除］ボタンを押す。

●応答ランプ消灯。
（現在応答中の回線があるときは、相手が電話を切ったあと、解除となります。それまでの間、応答ランプは点滅します。）

着信回数の見かた

●ディスプレイの時計表示を切替えて、着信回数の表示にすることができます。
着信回数は、総着信回数（全回線の合計）と回線ごとの回数の表示とすることができます。

総着信回数の見かた

1 ［表示切替］ボタンを押す。

●総着信回数を表示します。

（例）

7月
18日 758件

2 時計表示に戻すとき、もう一度、［表示切替］ボタンを押す。

※ディスプレイで表示できる着信回数は最大999万9999回です。
これを超えると、再度、0回からカウントします。

回線ごとの着信回数の見かた

1 総着信回数を表示中（左記のとき）に、［数字］ボタンで回線番号（1～3のうち1つ）を押し続ける。

●［数字］ボタンを押している間、回線ごとの着信回数を表示します。

2 時計表示に戻すとき、もう一度、［表示切替］ボタンを押す。

着信回数のクリア（0復旧）のしかた

●総着信回数を表示中に、［クリア］ボタンを5秒以上押し続ける。（クリアされると「ピー」という音がします。）

6. 臨時タイマーを使用する

- 年間タイマーのセット中は、各プログラムの登録内容に従ってタイマー動作を行いますが、臨時タイマーの登録により、特定の日のみ臨時にタイマー動作を変更することができます。
  臨時タイマーでは、次のことができます。
  - ・向こう１年以内の月・日が30日ぶんまで指定できます。
  - ・指定の月・日にタイマー動作をしたあと、該当の登録内容は消去され、通常の年間タイマー動作に戻ります。
- 臨時タイマーは、予定していた行事の変更の場合や毎年、月・日(期間)が不特定な行事(例：社員旅行日、キャンペーン期間など)がある場合などにご利用ください。

■臨時タイマーの新規の登録 (設定例：10月7日〜10月8日は社員旅行日のため、1日パターン番号"7"で使用する)

1 ［解除］ボタンを押す。

8月 18日 10:28

2 ［確認］ボタンを押したまま、［送り］ボタンを押す。

●登録メニュー表示となります。

登録 1日 週間 変則 祝日 休日 臨時 機能

3 ［送り］ボタンを繰返し押して、臨時表示を選ぶ。

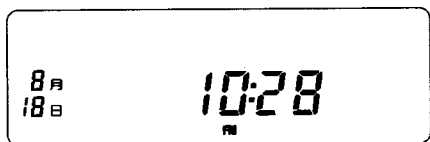
登録 1日 週間 変則 祝日 休日 臨時 機能

4 ［セット］ボタンを押す。

●１日パターン番号の入力待ちとなります。

5 1日パターン番号の入力

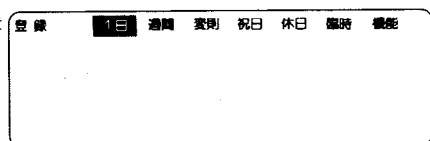
設定したい１日パターン番号を［数字］ボタンで入力する。

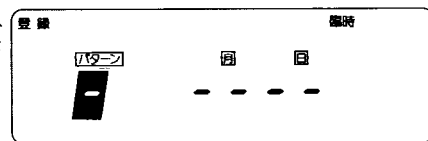
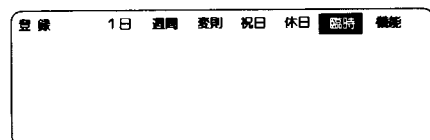
※例では、７を入力する。

●月・日の入力待ちとなります。

6 月・日の入力

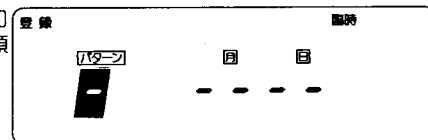
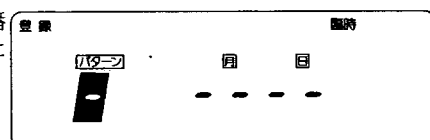
設定したい月・日(４ケタ)を［数字］ボタンで入力する。

※例では、1・0・0・7の順に入力する。

登録 臨時 パターン 7 月 日 1007

7 入力値が正しいことを確認し、［セット］ボタンを押す。

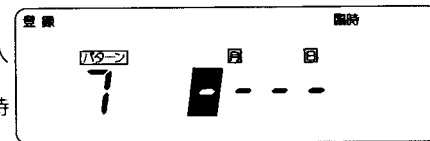
●次の登録値の入力待ちとなります。

8 以下、手順**5**〜**7**と同じ要領で、順番に臨時タイマーを登録する。

※例では、7・1・0・0・8［セット］の順に押す。

登録 臨時 パターン 月 日

9 ■登録を終るとき

➡［解除］ボタンを押す。

●時計表示となります。

→ ［応答］ボタンを押す
●臨時タイマー動作を始めます。

■登録内容の確認

1. ［解除］ボタン、［確認］ボタンの順に押す。
   ●ディスプレイが確認メニュー表示となります。
2. ［送り］ボタンを繰返し押して、臨時表示を選ぶ。
3. ［セット］ボタンを押す。
   ●ディスプレイに登録内容の１つ目が表示されますので確認できます。
4. 以下、［送り］ボタンを押すたびに、順番に登録内容が表示されます。
5. 確認を終るとき、［解除］ボタンを押す。

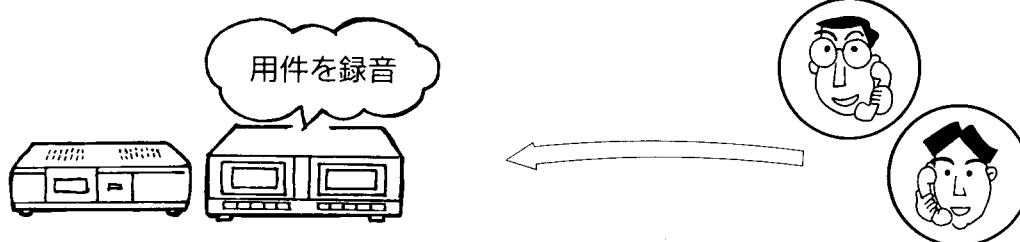
■登録内容の変更／消去／追加

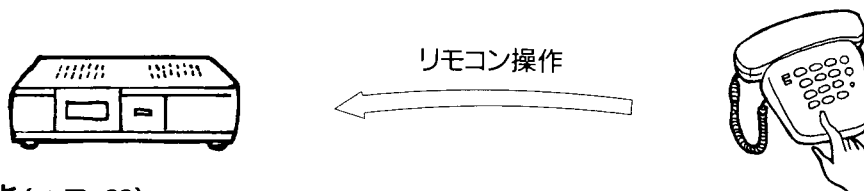
1. 「新規の登録」と同様に手順**1**・**2**・**3**・**4**を操作すると、現在の登録内容の１つ目が表示されます。続いて、［セット］ボタンを押すたびに、２つ目以降が順番に表示されます。
2. 変更／変更したい登録内容を表示中に、手順**5**〜**6**と同じ要領で新しい数値を入力し、［セット］ボタンを押す。
   消去／消去したい登録内容を表示中に、［クリア］ボタンを押しディスプレイが"-C-"の表示となったら、［セット］ボタンを押す。
   追加／［セット］ボタンを繰返し押して、未登録表示"- ----"となったら、手順**5**〜**6**と同じ要領で追加したい数値を入力し、［セット］ボタンを押す。
3. 操作を終るとき、［解除］ボタンを押す。

便利な使いかた

●用件録音機能、保留音源機能、音声ガイド機能などの便利な使いかたを説明しています。

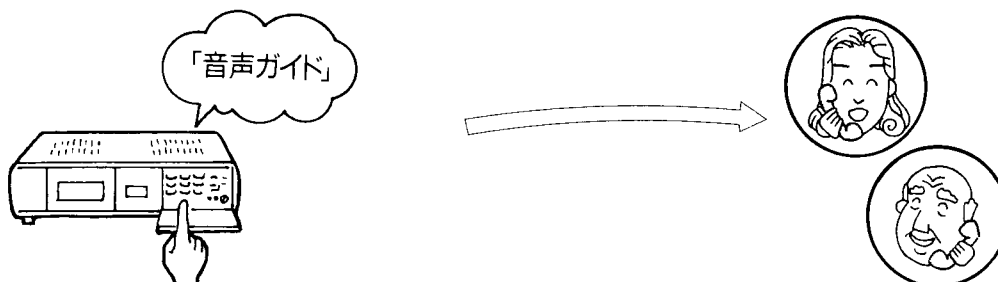
■用件録音機能（➡P. 32）

別売の自動通話録音装置VR-200の接続により、本装置で応答後、相手の用件が録音できます。

■リモコン機能（➡P. 34）

離れた場所から電話回線を使って、応答メッセージの録音や、応答セット/解除などのリモコン操作ができます。

■保留音源機能（➡P. 39）

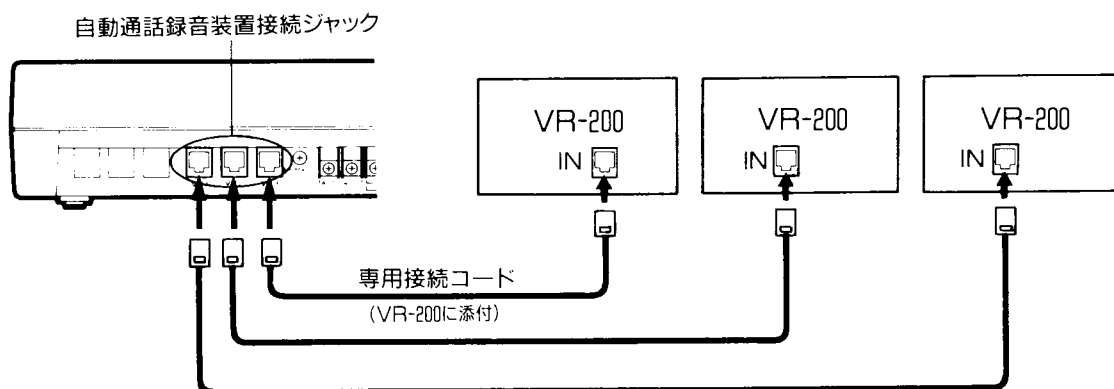
電話の保留中は、お待たせしている相手に独自の音楽や案内を流すことができます。
ボタン電話・交換機（PBX）の保留音源装置としてご利用になれます。※他の機能との併用ができます。

■音声ガイド機能（➡P. 40）

電話の問い合せ窓口などで、相手の質問に応じて「音声ガイド」メッセージ（9種類）をマニュアル操作で流すことができます。 ※応答専用機能、用件録音機能との併用はできません。

用件録音機能の使いかた

- 自動通話録音装置VR-200(別売)(以下、VR-200といいます。)を接続すれば、本機で自動応答後、相手の用件が録音できるようになります。
  VR-200接続時の用件録音時間は、最大6時間です。(VR-200・1台接続時/C-90テープを2倍モードで使用時)
- 用件録音機能をご使用の場合も応答専用機能の場合と同様に、タイマーモード(P.14～P.30)での使用ができます。

接続のしかた

- VR-200は、最大12台まで接続できます。標準的な接続例を次に示します。
  (接続方法の詳細は、「自動通話録音装置VR-200・取扱説明書」をご覧ください。)

用件の録音方式について

- VR-200による用件の録音方式は、次の2方式があります。用途に応じて選択してください。

集　約　方　式	1 対 1 方 式
●全回線の用件を1本に集約して録音する方式です。(複数の回線に同時に着信したとき、VR-200は同時動作はできませんので相手にお待たせ案内メッセージを流すなど、待ち合わせが発生します。) ※VR-200のデッキを個別使用とし、2回線までを同時動作させることもできます。	●回線ごとにVR-200を対応させ、個々に録音する方式です。(複数の回線に同時に着信しても、VR-200は同時動作ができます。) ●着信が一度に集中する場合に適します。

準備1.応答メッセージの録音

- 27ページ・「応答メッセージの録音のしかた」の要領で、次のメッセージを録音してください。

メッセージ	CH	内容
①応答メッセージ	1CH ～ 9CH	相手に用件録音を依頼する内容としてください。 例:「…………、信号音が鳴りましたら、お名前・電話番号・ご用件をお話しください」
②お待たせ案内用メッセージ	10CH	連続して着信があったときなど、VR-200がすぐに用件の録音に入れないときのために、相手に待ち合わせを依頼するメッセージを録音してください。 例:「ただ今、録音機がふさがっておりますので、このまま、しばらくお待ちください……」
③録音満杯応答用メッセージ	11CH	VR-200の録音テープが満杯となり録音ができなくなったときのために、お断りをするメッセージを録音してください。 例:「ハイ、○○でございます。ただ今、都合によりご用件が録音できませんので、○○○-○○○○へおかけ直しください……」

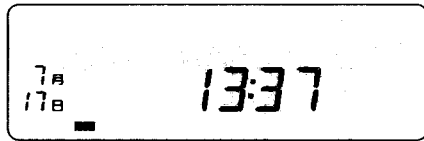
ご注意

- お待たせ案内用メッセージを録音せずに使用した場合、VR-200がすでに録音動作をしているときは、新たな着信には応答できなくなります。
- 録音満杯応答用メッセージを録音せずに使用した場合、VR-200の録音テープが満杯となったときは、以後の着信には応答できなくなります。

準備2. 用件録音機能の設定

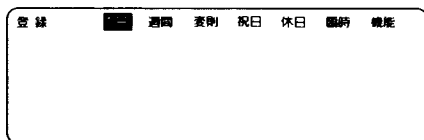
1 [解除]ボタンを押す。

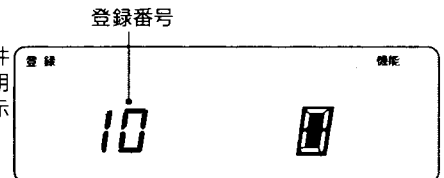
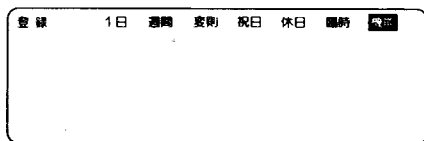
2 [確認]ボタンを押したまま、[送り]ボタンを押す。

● 登録メニューを表示します。

3 [送り]ボタンを繰返し押して、**機能**表示を選ぶ。

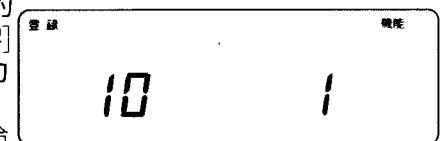
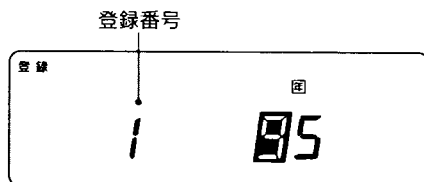
4 [セット]ボタンを押す。

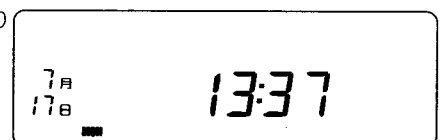
● 登録番号１の表示となります。

5 [送り]ボタンを３回押す。

6 [セット]ボタンを繰返し押して、登録番号10を表示させる。

● 初期値“0”(用件録音機能を使用しない。)を表示します。

7 録音方式の入力

設定したい録音方式に応じて、“1”(1対1方式)または“2”(集約方式)を[数字]ボタンで入力する。

※表示は1対1の場合

8 [セット]ボタンを押し、続いて[解除]ボタンを押す。

● 時計表示となります。

ご注意

● 用件録音機能を設定すると、応答メッセージの送出回数の登録内容は無効となり、１回(固定)となります。

● 用件録音機能を設定すると、用件録音ランプ(ICM REC)が点灯して、お知らせします。

応答セットをするには

● マニュアルモードでお使いのとき → 13ページ・「応答セットをする」と同様の方法で応答セットしてください。
● タイマーモードでお使いのとき → 28ページ・「年間タイマーのセット」と同様の方法で応答セットしてください。
● VR-200を録音待機にセットする。本機の「用件録音機設定モニターランプ」が点灯します。

ご注意

● 1対1方式に設定してお使いの場合、VR-200を接続しない回線は、常に録音満杯応答用メッセージで応答します。
● 応答セットをしたときは、必ずVR-200の録音待機セット(本機の用件録音機モニターランプが点灯していること)を確かめてください。VR-200の録音待機セットをしていないと、エラーとなり正規の応答動作ができません。(エラーになると、マニュアルモード時はその時点で、タイマーモード時は応答セットの時刻となったとき、「ピピ……」という音が鳴り続きます。)

用件を再生するには

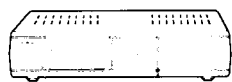
● 「自動通話録音装置VR-200・取扱説明書」の「再生するには」の項をご覧ください。

便利な使いかた

● 設定により、用件録音機能と応答専用機能（電話に自動応答し、メッセージを流すのみの機能）の切替使用ができます。設定および操作のしかたは、44ページ「用件録音機能と応答専用機能の切替使用のしかた」をご覧ください。

リモコン機能の使いかた

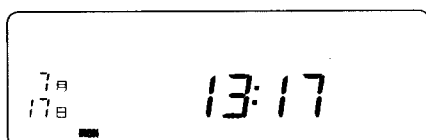
プッシュ信号の出る電話機から、AT-D39Rへ電話をかけて応答メッセージを録音したり、応答セット/解除などのリモコン操作ができます。

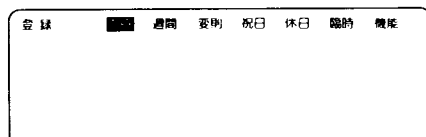
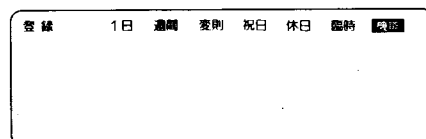
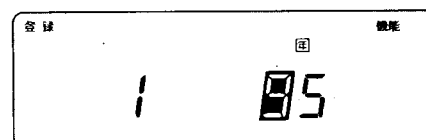
※自動通話録音装置VR-200に録音された相手の用件を、リモコン操作で聞くことはできません。

準備. 暗証番号の登録

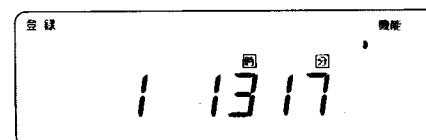
●リモコン操作をする前に暗証番号を登録してください。暗証番号は任意の4ケタ番号(0000~9999)が登録できます。

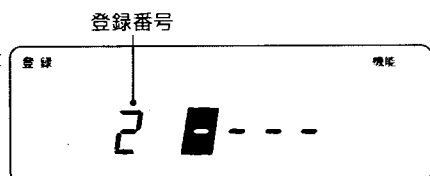
■新規に登録するとき

[例] 暗証番号として"8765"を登録するとき

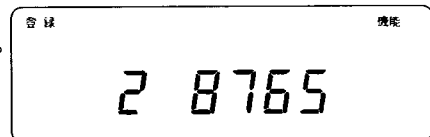
1 [解除]ボタンを押す。

2 [確認]ボタンを押したまま、[送り]ボタンを押す。

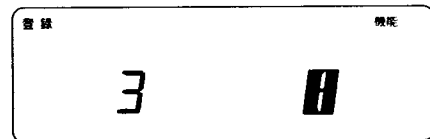
●登録メニューを表示します。

3 [送り]ボタンを繰返し押して、機能表示を選ぶ。

4 [セット]ボタンを押す。

●登録番号1の表示となります。

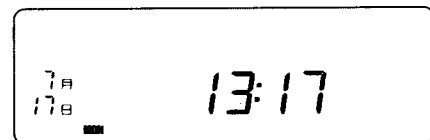
5 [送り]ボタンを3回押す。

6 もう一度[セット]ボタンを押して、登録番号2を表示させる。

●初期値"-"(未登録)を表示します。

登録番号

7 登録したい暗証番号を[数字]ボタンで入力する。

※例では、8・7・6・5の順に入力する。

8 [セット]ボタンを押す。

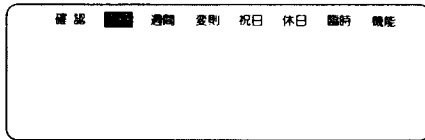
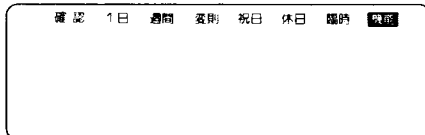
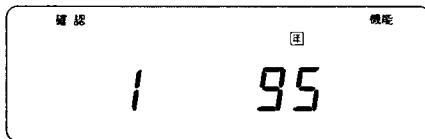
●次の登録番号の表示となります。

9 [解除]ボタンを押す。

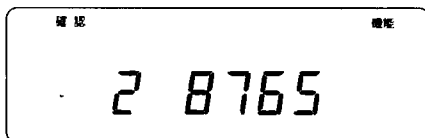
●時計表示となります。

リモコン操作するときは、[応答]ボタンを押し、応答セットをする。
●応答ランプが点灯します。

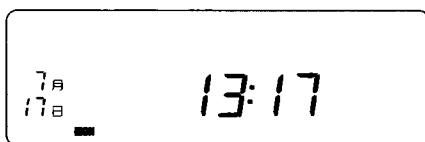
■変更するときは
➡手順1からやり直す。

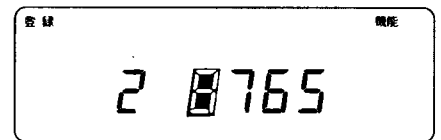
■暗証番号を確認するとき

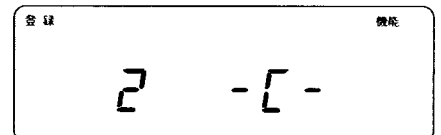
1 ［解除］ボタン、［確認］ボタンの順に押す。

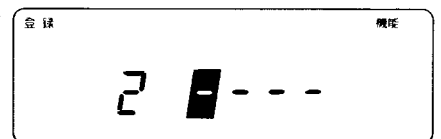
●確認メニューを表示します。

2 ［送り］ボタンを繰返し押して、**機能**表示を選ぶ。

3 ［セット］ボタンを押す。

4 ［送り］ボタンを3回押す。

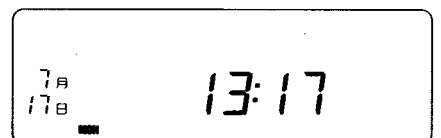
●登録番号2の表示となります。

5 確認を終るとき、［解除］ボタンを押す。

●時計表示となります。

■暗証番号を消去するとき

1 「新規に登録するとき」34ページと同様に手順**1**～**6**を操作すると、現在の登録内容が表示されます。

2 ［クリア］ボタンを押す。

●ディスプレイが"-C-"の表示となります。

3 ［セット］ボタンを押す。

●暗証番号が消去され、未登録表示"----"となります。

4 操作を終るとき、［解除］ボタンを押す。

●時計表示となります。

ご注意

●暗証番号を消去すると、電話機からのリモコン操作はできなくなります。

リモコン操作するには

■リモコン操作の内容とそのダイヤル番号

操作したい内容		リモコン番号
リモコン操作に入るとき		○○○○ (暗証番号:4ケタ)
応答メッセージの録音	開始	○○・㊍ (チャンネル番号)
	終了	㊓
応答メッセージの確認		○○・㊓ (チャンネル番号)
応答メッセージの切替		⑤ ○ ⑨ (チャンネル番号)
応答セット		⑦ ① ⑨
応答セットの解除		⑦ ⓪ ⑨

チャンネル番号の入力のしかた

- 応答メッセージの録音や確認をするときのチャンネル番号は、2ケタの数字(01~12のうち1つ)を入力してください。
  [例] 3チャンネル → ⓪③を入力する。
  10チャンネル → ①⓪を入力する。
- 応答メッセージを切替するときのチャンネル番号は、1ケタの数字(1~9のうち1つ)を入力してください。
  [例] 3チャンネル → ③を入力する。
  6チャンネル → ⑥を入力する。

リモコン用の電話番号について

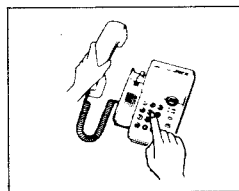
- リモコン操作するときにかける電話番号は、本装置の回線3へ収容した回線の電話番号です。リモコン操作する前に調べておいてください。
  (回線1・2に収容した回線の電話番号に電話をかけても、リモコン操作はできません。)

ご注意

- 暗証番号は、ゆっくり確実に押してください。
- 暗証番号を受付けないときは暗証番号を最初から押し直してください。
- 間違った番号を8回押すと、電話が切れます。
- 携帯電話など、プッシュ信号が短時間しか出ない電話機からリモコン操作したときは、暗証番号などのリモコン信号が受付されない場合があります。

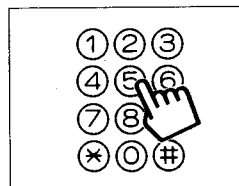
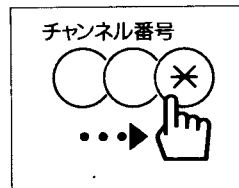
■応答メッセージを録音するには

応答メッセージ(1~9CH)、用件録音システム用メッセージ(10~11CH)および保留音源用メッセージ(12CH)など、すべてのメッセージの録音ができます。

1

プッシュ信号の出る電話機から、リモコン用の電話番号へ電話をかける。
- 電話機から応答メッセージが聞こえてきます。

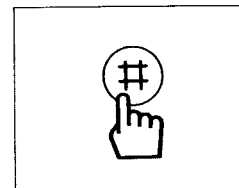
2

〈応答メッセージ再生中に〉
暗証番号(4ケタ)を押す。
- 暗証番号を受付けると、「ピー」という音が約4秒間聞こえます。

3

〈「ピー」という音が鳴り終ったら〉
録音したいチャンネル番号(2ケタ)➡㊍の順に押す。

4

「ピー」という音がしたら、録音を始める。

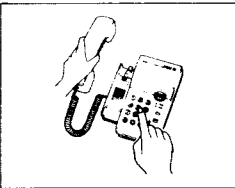
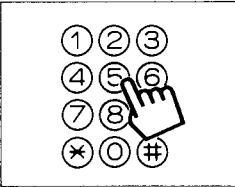
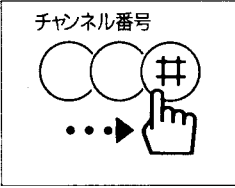
5

〈録音を終るとき〉
㊓を押す。
- 「ピー」という音がします。

6

今録音したメッセージが聞こえますので内容を確認します。
- メッセージの再生が終ると、終了音「ピピピピ」が聞こえます。

7

■続いて、他のチャンネルの録音をするとき
➡終了音の後、10秒以内に手順**3**から再操作する。

■録音を終るとき
➡電話を切る。

アドバイス

- 録音を間違えたときは、手順**7**のとき、もう一度手順**3**からやり直してください。
- 手順**3**で入力したチャンネルが使用中(回線へメッセージを送出中)の場合、「ピピピピ」という音が出てきます。この場合、そのチャンネルは録音できませんので、再度、他のチャンネル番号を入力して手順**4**以降の操作をするか、一度電話を切り、手順**1**からやり直してください。

■応答メッセージを確認するには

現在録音されているメッセージの内容を確認することができます。

1

プッシュ信号の出る電話機から、リモコン用の電話番号へ電話をかける。

- 電話機から応答メッセージが聞こえてきます。

2

〈応答メッセージ再生中に〉
暗証番号(4ケタ)を押す。

- 暗証番号を受付けると、「ピー」という音が約4秒間聞こえます。

3

〈「ピー」という音が鳴り終ったら〉
確認したいチャンネル番号(2ケタ)➡ ㊓ の順に押す。

4

応答メッセージが再生されますので内容を確認します。

- メッセージの再生が終ると、終了音「ピピピピ」が聞こえます。

5

■続いて、他のチャンネルの確認をするとき
➡終了音の後、10秒以内に手順**3**から再操作する。

■確認を終るとき
➡電話を切る。

ご注意

- 手順**3**で、録音されていないメッセージのチャンネル番号を入力しても「ピピピピ」という音が聞こえ、メッセージの確認はできません。

―リモコンの連続操作について―

- 終了音のあとや受付確認音のあとは、約10秒間のポーズ時間(動作休止時間)が設けてあります。
  このポーズ中にリモコン番号を押せば、続いて他のリモコン操作をすることができます。
  (ポーズ時間中にリモコン信号が入力されなかったときは、自動的に電話が切れます。)

■応答メッセージを切替するには

あらかじめ、複数の応答メッセージが録音してあれば、チャンネル番号(1～9)を指定して応答メッセージを切替ることができます。

1

プッシュ信号の出る電話機から、リモコン用の電話番号へ電話をかける。

- 電話機から応答メッセージが聞こえてきます。

2

〈応答メッセージ再生中に〉
暗証番号(4ケタ)を押す。

- 暗証番号を受付けると、「ピー」という音が約4秒間聞こえます。

3

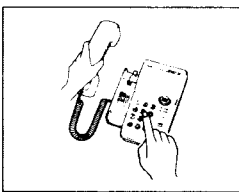
〈「ピー」という音が鳴り終ったら〉
⑤➡入替したいチャンネル番号(1ケタ)➡⑨の順に押す。

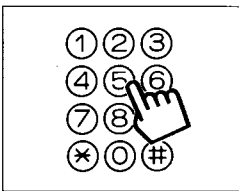
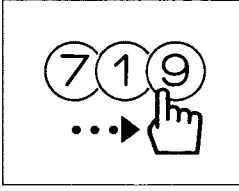
- 「ピー」という受付確認音が聞こえ、応答メッセージが切替わります。

4

■操作を終るとき
➡電話を切る。

ご注意

- 応答メッセージの切替は、マニュアルモードでお使いの場合の機能です。タイマーモードでお使いの場合、この機能はご利用になれません。
- 手順**3**で、録音されていない応答メッセージのチャンネル番号を入力しても「ピピピピ」という音が聞こえ、応答メッセージの切替はできません。

―タイマーモードで使用時のリモコン操作について―

- 年間タイマーの指定が「停止」の時間帯は、応答セットはされていません。このため、「停止」の時間帯に外から電話をかけても、通常の方法では自動応答しません。
  この場合、通常より長く(呼出音が約30回聞こえるまで)呼び続けると自動応答しますので、暗証番号を入力しリモコン操作をしてください。
- 年間タイマーの指定が「応答セット」の時間帯は、通常の方法でリモコン操作ができます。

リモコン機能の使いかた

■応答セットをするには

あらかじめ、応答メッセージの送出指定(➡P.13)と、そのチャンネルに応答メッセージが録音してあれば、外から応答セットをすることができます。

1

プッシュ信号の出る電話機から、リモコン用の電話番号へ電話をかける。

2

呼出音が約30回聞こえるまで呼び続ける。

- 電話がつながり、無音のまま10秒間暗証番号の入力待ちとなります。

3

〈電話がつながってから10秒以内に〉

暗証番号(4ケタ)を押す。

- 暗証番号を受付けると、「ピー」という音が約4秒間聞こえます。

4

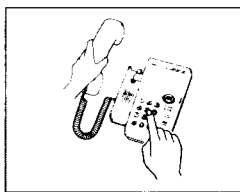
〈「ピー」という音が鳴り終ったら〉

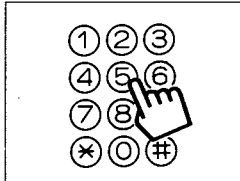
⑦➡①➡⑨の順に押す。

- 「ピー」という受付確認音が聞こえ、応答セットされます。

5

■続いて、他のリモコン操作をするとき

➡〈受付確認音のあと、10秒以内に〉リモコン番号を押す。

■操作を終るとき

➡電話を切る。

ご注意

- 応答メッセージの送出指定(P.13)をしたチャンネルに応答メッセージが録音されていない場合は、手順**4**のとき「ピピピピ」という音が聞こえ、応答セットはできません。
  36ページ・「応答メッセージを録音するには」の方法でメッセージを録音した上で、応答セットのリモコン操作をしてください。
- タイマーモードでお使いの場合、応答セットのリモコン操作をすると、年間タイマーがセットされます。(設定してあるタイマー登録の内容に従って応答セットされます。)

■応答セットを解除するには

応答セットしてあるAT-D39Rを解除することができます。

1

プッシュ信号の出る電話機から、リモコン用の電話番号へ電話をかける。

- 電話機から応答メッセージが聞こえてきます。

2

〈応答メッセージ再生中に〉

暗証番号(4ケタ)を押す。

- 暗証番号を受付けると、「ピー」という音が約4秒間聞こえます。

3

〈「ピー」という音が鳴り終ったら〉

⑦➡⓪➡⑨の順に押す。

- 「ピー」という受付確認音が聞こえ、応答セットが解除されます。

4

■続いて、他のリモコン操作をするとき

➡〈受付確認音のあと、10秒以内に〉リモコン番号を押す。

■操作を終るとき

➡電話を切る。

ご注意

- タイマーモードでお使いの場合、応答セットの解除のリモコン操作をすると、年間タイマーのセットが解除されます。

保留音源機能の使いかた

接続のしかた

● 9ページ・「準備2．保留音源機能を使用するときの接続」の方法で接続してください。
（接続は、販売店へご依頼ください。）

メッセージの録音のしかた

● 保留音源用メッセージの録音チャンネルは、12チャンネルです。
27ページ・「応答メッセージの録音のしかた」の手順**3**のとき、12チャンネルを指定してメッセージを録音してください。（他の操作は同様です。）

12チャンネルに録音をすると…

● 保留音源ランプが点灯して、お知らせします。

動作表示について

● 電話を保留し、保留音源用メッセージを流しているときは、保留音源ランプが点滅表示します。

音声ガイド機能の使いかた

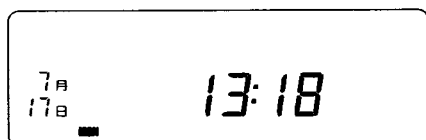
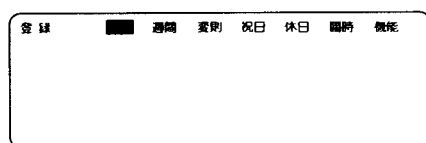
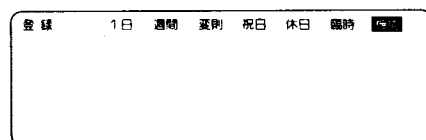
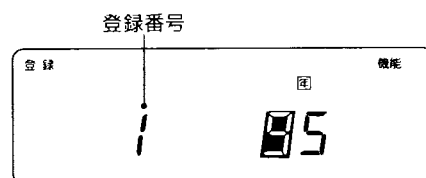
接続のしかた

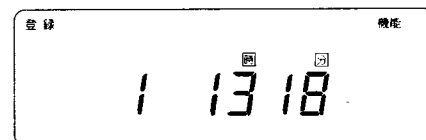
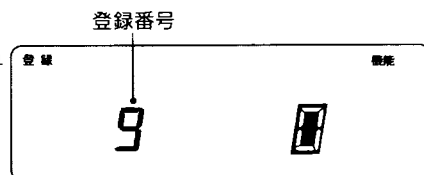
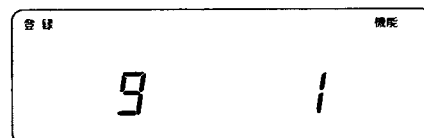
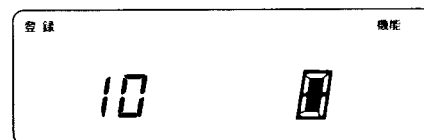
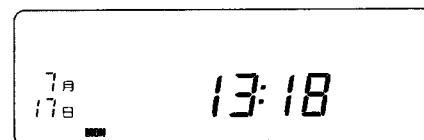
● 8ページ・「準備1．電話回線の接続」の方法で接続してください。

準備1．音声ガイドメッセージの録音

● 音声ガイドメッセージの録音チャンネルは、1〜9チャンネルです。
27ページ・「応答メッセージの録音のしかた」と同様の方法で音声ガイドメッセージを録音してください。

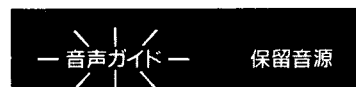
準備2．音声ガイド機能の設定

1 ［解除］ボタンを押す。

2 ［確認］ボタンを押したまま、［送り］ボタンを押す。

3 ［送り］ボタンを繰返し押して、機能表示を選ぶ。

4 ［セット］ボタンを押す。

5 ［送り］ボタンを3回押す。

6 ［セット］ボタンを繰返し押して、登録番号9を表示させる。

7 音声ガイドモードを設定するため、［数字］ボタンで"1"を入力する。

8 ［セット］ボタンを押す。

9 ［解除］ボタンを押す。

音声ガイドモードを設定すると…

● 音声ガイドランプが点灯して、お知らせします。

— 音声ガイド —　保留音源

■音声ガイド機能の設定を取消すには

● 上記の手順**7**のとき、［数字］ボタンで"0"を入力し、［セット］ボタンを押す。続いて、［解除］ボタンを押す。

音声ガイドの送出のしかた

［例］回線2で通話中に5チャンネルの音声ガイドを送出する。

準備 ［応答］ボタンを押す。
●応答ランプ点灯。

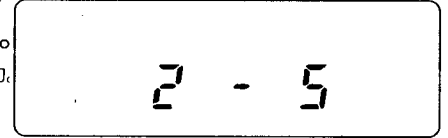
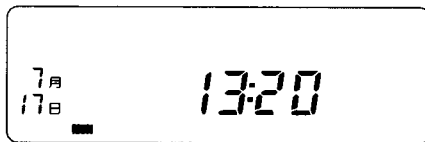
1 電話機で通話中……

7月 17日 13:20

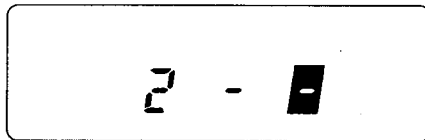
2 回線番号の入力
音声ガイドを送出したい(現在通話中の)回線番号を［数字］ボタンで入力する。
※例では、2を入力。
●チャンネル番号の入力待ちとなります。

2 - ■

3 チャンネル番号の入力
送出したい音声ガイドのチャンネル番号(1ケタ)を［数字］ボタンで入力する。
※例では、5を入力。

2 - 5

4 ［セット］ボタンを押し、受話器を下ろす。
●5秒後に、相手へ音声ガイドが送出されます。
●送出中の回線番号が表示されます。

送出中の回線番号

7月 17日 13:20 LINE 2

5 ■音声ガイドの送出が終ると……
➡自動的に電話が切れます。
●送出中の回線番号の表示が消えます。

■複数の回線に音声ガイドを送出するには

●上記の手順**4**のとき(ある回線に音声ガイドを送出中)、他の回線に音声ガイドを送出するときは、手順**1**～**4**と同じ要領で操作してください。

■音声ガイドの送出回数について

●お買い上げ時は、送出回数：1回に設定されていますが、最大9回まで(または連続送出)に変更することができます。設定は43ページ・「自動応答時の設定の変更のしかた」の中の応答メッセージの送出回数(登録番号6)の登録変更と同様の方法で行ってください。

■使用回数のカウントについて

●ディスプレイが時計表示のとき、［表示切替］ボタンを押すと、音声ガイドの使用回数(全回線の合計回数)が表示できます。この状態から、［数字］ボタンで回線番号(1～3のうち1つ)を押すと、押している間、回線ごとの使用回数が表示されます。使用回数を見終ったら、もう一度、［表示切替］ボタンを押して、時計表示に戻してください。
●使用回数をクリア(0復旧)するときは、使用回数を表示中に［クリア］ボタンを5秒以上押し続けてください。(クリアされると「ピー」という音がします。)

ご注意

●手順**2**のとき、通話中でない回線番号を入力すると、「ピ・ピ・ピ」という音が出て回線番号は入力できません。
●手順**3**のとき、未録音のチャンネル番号を入力すると、「ピ・ピ・ピ」という音が出てチャンネル番号は入力できません。
●ディスプレイが時計表示をしていないときは、音声ガイドの送出はできません。(このときは［表示切替］ボタンを押し、ディスプレイを時計表示にしてください。)
●音声ガイドを送出中に相手が電話を切ると、自動的に音声ガイドの送出は止まります。

参考資料

1. 登録一覧表

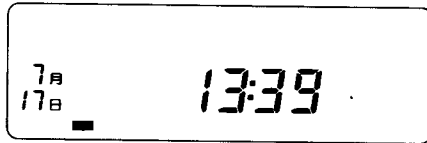
● 機能設定などの登録の種類は、次の一覧表に示すように11種類あります。
お買い上げ時は初期値が設定されています。必要に応じて設定を変更することができます。

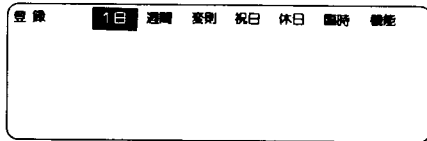
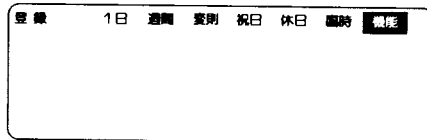
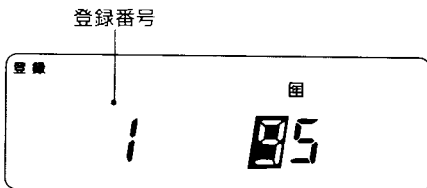
登録番号	登録項目と内容	入力値	入力値の意味	初期値	参照ページ
1	年・月・日、時刻の登録 ●年・月・日、時刻を登録、または修正します。	年：00〜99 月：01〜12 日：01〜31 時：00〜23 分：00〜59	年の入力値は西暦の下2ケタを表し93〜99は(1993〜1999)を00〜92は(2000〜2092)を意味します。	未登録	10
2	暗証番号の登録 ●リモコン機能を使用するときの暗証番号(4ケタの任意番号)の登録。	ー(未登録) 0000 ∫ 9999	：リモコン機能を使用しない ：登録した暗証番号のプッシュ信号でリモコン操作ができる	未登録	34
3	着信ベル回数の登録 ●着信ベル何回目で自動応答させるかの回数設定。	1 ∫ 9	：1回目の着信ベルで自動応答 ∫ ：9回目の着信ベルで自動応答	1	43
4	応答メッセージの送出指定登録(マニュアルモードの場合) ●マニュアルモードで自動応答時に何チャンネルの応答メッセージを送出させるかの指定。(手動でメッセージの送出指定も可能)	1 ∫ 9	：1チャンネルを送出 ∫ ：9チャンネルを送出	1	13
5	特定チャンネルの応答専用指定 ●用件録音機能と応答専用機能を併用したいときに、特定のチャンネルを応答専用指定にする登録。	0 1 ∫ 9	：用件録音機能と応答専用機能の併用はしない ：応答セット中、1チャンネルを指定すると応答専用機能となる ∫ ：応答セット中、9チャンネルを指定すると応答専用機能となる	0	44
6	応答メッセージの送出回数登録 ●自動応答時に応答メッセージを何回送出するかの指定。(ただし、用件録音機能使用時は無効)(※1)	1 ∫ 9 0	：1回送出 ∫ ：9回送出 ：連続送出	1	43
7	回線保留時間の登録 ●着信に自動応答してから回線を解放するまでの時間設定。(※2)	01 ∫ 99 00	：1分 ∫ ：99分 ：連続	30	—
8	相手終話検出の登録 ●相手が通話を終えたときに回線に出る特殊な信号(CPC信号)の判定条件の設定。(※2)	0 1 2	：判定しない ：4mS以上の信号を終話と判定 ：270mS以上の信号を終話と判定	1	—
9	音声ガイド機能の登録 ●本機の使用方法を決めるための設定。	0 1	：音声ガイド機能を使用しない ：音声ガイド機能を使用する	0	40
10	用件録音方式の登録 ●VR-200を接続して、相手の用件を録音するときの方式指定。	0 1 2	：用件録音機能を使用しない ：「1対1」方式で用件録音する ：「集約」方式で用件録音する	0	33
11	メッセージの自動録音機能の登録 ●テープレコーダから全メッセージを一括録音するときの録音チャンネルおよび録音順番の指定。	00 01 ∫ 12	：自動録音機能を使用しない ：再生出力の1番目は01CHに録音 ∫ ：再生出力の12番目は12CHに録音	00	45

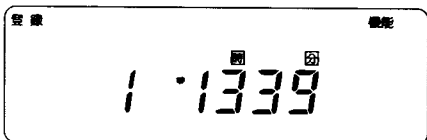
(※1) 音声ガイド機能を使用時は、音声ガイドの送出回数の登録となります。
(※2) アフターサービス用の設定です。通常は変更の必要はありません。

2. 自動応答時の設定の変更のしかた

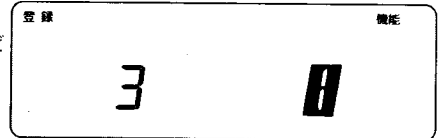
●登録一覧表の着信ベル回数の登録（登録番号3）や応答メッセージの送出回数の登録（登録番号6）は自動応答時の基本動作に関する登録です。
お買い上げ時は初期値が設定されていますので、必要に応じて設定を変更してください。
［設定例］着信ベル回数：3回に変更、応答メッセージの送出回数：2回に変更する。

1 ［解除］ボタンを押す。

2 ［確認］ボタンを押したまま、［送り］ボタンを押す。

●登録メニューを表示します。

3 ［送り］ボタンを繰返し押して、機能 表示を選ぶ。

4 ［セット］ボタンを押す。

●登録番号1の表示となります。

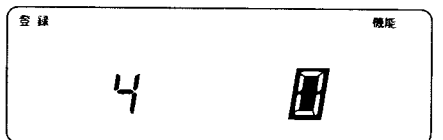
5 ［送り］ボタンを3回押す。

6 着信ベル回数の変更

［セット］ボタンを2回押し、登録番号"3"を表示させる。

●初期値"1"などを表示します。

7 変更したい数値を［数字］ボタンで入力する。

※例では、3を入力する。

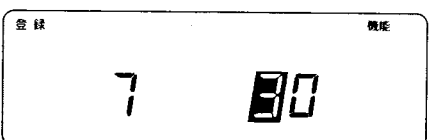
8 ［セット］ボタンを押す。

●これで着信ベル回数が変更されました。
●次の登録番号の表示となります。

9 応答メッセージの送出回数の変更

続いて［セット］ボタンを2回押し、登録番号"6"を表示させる。

●初期値"1"などを表示します。

10 変更したい数値を［数字］ボタンで入力し、［セット］ボタンを押す。※例では、2［セット］の順に押す。

●これで応答メッセージの送出回数が変更されました。
●次の登録番号の表示となります。

■操作を終るとき

➡［解除］ボタンを押す。

●時計表示となります。

3. 用件録音機能と応答専用機能の切替使用のしかた

●用件録音機能を使用している場合に、あらかじめ応答専用のチャンネルを設定してメッセージを録音しておけば、そのチャンネルを指定するだけで応答専用機能に切替えて使用することができます。応答専用機能に切替えることのできるチャンネルは、1〜9CHの任意のチャンネル(1つのみ)です。

■ 応答専用チャンネルの設定

[設定例] 7チャンネルを応答専用チャンネルに設定する場合

1 43ページ・「自動応答時の設定の変更のしかた」の手順**1**〜**5**を行うと……

●右のような時刻表示となります。

登録 機能 時 分 1 1405

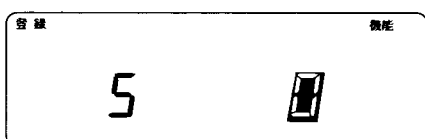
2 [セット]ボタンを繰返し押して、登録番号"5"を表示させる。

●現在の登録内容(例では0)が表示されます。

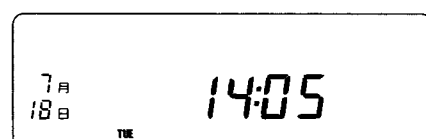
登録 機能 5 0

3 応答専用としたいチャンネル番号(1ケタ)を[数字]ボタンで入力する。

●例では、"7"を入力する。

登録 機能 5 7

4 [セット]ボタンを押し、続いて[解除]ボタンを押す。

●応答専用チャンネルが設定されます。
●時計表示となります。

7月 18日 TUE 14:05

■ 応答専用メッセージの録音

設定した応答専用チャンネルに、応答専用メッセージを録音してください。
[操作例] 7チャンネルに応答専用メッセージを録音する場合
●27ページ・「応答メッセージの録音のしかた」の手順**1**〜**2**を行い、手順**3**のとき[数字]ボタンで録音したいチャンネル番号"07"を入力し[セット]ボタンを押して、応答専用メッセージを録音してください。録音を終るとき[解除]ボタンを押します。

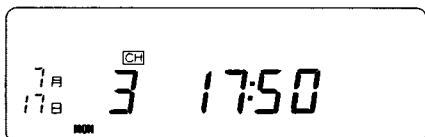
■ 応答専用機能に切替えて応答セットをするには

マニュアルモードの場合

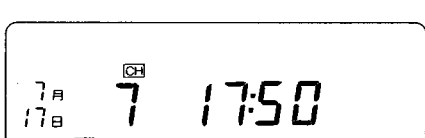
[操作例] 応答専用チャンネル"7"で応答専用機能に切替えて応答セットする場合
(通常は1〜6CHで用件録音機能を使用)

1 [応答]ボタンを押す。

●応答ランプ点灯。
●ディスプレイには前回使用した応答メッセージのチャンネル番号が表示されます。

7月 17日 MON CH 3 17:50

2 設定した応答専用チャンネル番号(1ケタ)を[数字]ボタンで入力する。

※例では、"7"を入力する。
●応答専用チャンネルに切替わり、応答専用機能となります。

7月 17日 MON CH 7 17:50

タイマーモードの場合

●17ページ・「1日のメッセージの送出パターンを計画する」の方法で……

応答専用機能にしたい時刻に	→	応答専用チャンネルを指定し、タイマー登録する。
用件録音機能にしたい時刻に	→	応答専用チャンネル以外のチャンネルを指定し、タイマー登録する。

⬇

応答専用チャンネルを指定した時刻には → 自動的に応答専用機能に切替わります。

応答専用チャンネル以外のチャンネルを指定した時刻には → 自動的に用件録音機能に切替わります。

●マニュアルモードの場合、再度、用件録音機能に戻して使用したいときは、手順**2**のとき、[数字]ボタンで、用件録音機能で使用しているチャンネル番号(例では1〜6)を入力し、切替えてください。

4. メッセージの自動録音のしかた

●あらかじめ、カセットテープ等に使用したい全メッセージを録音しておけば、下記の設定により、テープレコーダから一度に全メッセージを録音することができます。
一度に、最大12チャンネルのメッセージが録音できます。

■自動録音チャンネルの設定

[設定例]カセットテープに下記の順番でメッセージが録音されている場合。

→テープの再生方向

01CH用メッセージ	02CH用メッセージ	05CH用メッセージ	03CH用メッセージ	10CH用メッセージ

●テープの録音位置の1番目のメッセージから順番にチャンネル番号を入力します。
●チャンネル番号は、2ケタの数字を入力してください。

自動録音用テープの作りかた

●1番目のメッセージの手前には3秒程度の無音部分を設けてください。
●各メッセージの区切りには20秒以上、60秒以下の無音部分を設けてください。
●管理を容易にするため、なるべく、チャンネル番号の若い順にメッセージを録音してください。

1 43ページ・「自動応答時の設定の変更のしかた」の手順**1**～**5**を行うと……

●右のような時刻表示となります。

登録 機能 1 1405

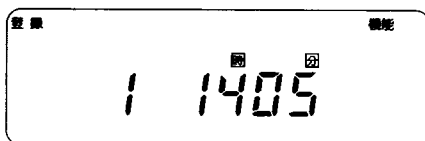
2 [セット]ボタンを繰返し押して、登録番号"11"を表示させる。

●録音位置の1番目の入力待ちとなります。

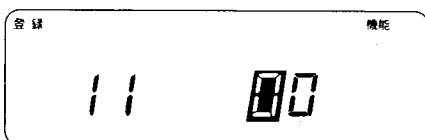
登録 機能 11 00

3 テープの録音位置1番目のチャンネル番号(2ケタ)を[数字]ボタンで入力する。

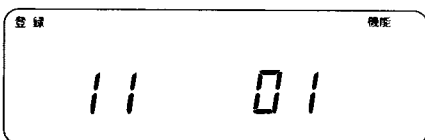
※例では、0・1と押す。

登録 機能 11 01

4 [送り]ボタンを押す。

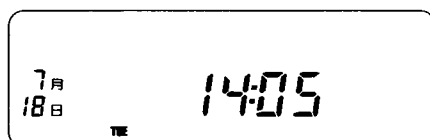
●録音位置の2番目の入力待ちとなります。

登録 機能 11 -

5 続いて、手順**3**～**4**と同じ要領で、2つ目以降の録音チャンネルをすべて入力する。

※例では、0・2・[送り]・0・5・[送り]・0・3・[送り]・1・0・[送り]の順に押す。

登録 機能 11 -

6 すべてを入力したら[セット]ボタンを押し、[解除]ボタンを押す。

●時計表示となります。

7月 18日 14:05

■チャンネル番号の入力を間違えたとき

➡[セット]ボタンを押す前であれば、[クリア]ボタンを押し、最初から正しい数値を再入力する。
[セット]ボタンを押したあとであれば、[解除]ボタンを押し、手順**1**からやり直す。

■変更するとき

➡手順**1**からやり直す。

■テープレコーダから自動録音するには

●使用する全メッセージを録音したカセットテープ等を用意して、27ページ・「応答メッセージの録音のしかた」の手順**1**～**2**を行い、手順**3**のとき[数字]ボタンで"00"を入力し[セット]ボタンを押してください。同時にテープレコーダを再生状態にしてください。自動録音を開始します。(全メッセージの録音が終ると、自動的に解除になります。)

ご注意

●自動録音用テープのメッセージの区切りの無音部分の設定が適正でない場合や自動録音チャンネルの設定が間違っている場合などは、ディスプレイがエラー表示(E-4～E-6)となり、正常に録音できませんのでご注意ください。(➡P. 47)

5. 音声メモリーユニットについて

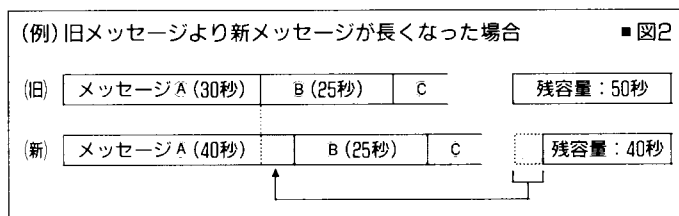
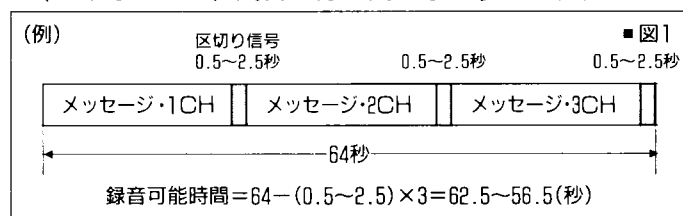
■音声メモリーユニットの容量表示について

音声メモリーユニットの1分当たりの実質の録音容量は64秒です。
(例)基本実装(1分)のみの場合…録音容量は64秒
音声メモリーユニット(4分用)1枚増設の場合…録音容量＝64秒×(1＋4)＝320秒

■録音可能時間について

複数のメッセージを録音したときは、メッセージの境界を識別するため、各チャンネルの末尾に0.5秒～2.5秒の区切り信号が書き込まれます。このため、全体の録音可能時間は、録音容量から区切り信号の時間（全チャンネルの合計値)を差し引いた時間となります。(図1)

■メッセージ長について

初めて録音するときは、本機の録音容量の範囲でメッセージ長に制限はありません。
録音をやり直したときは、メッセージ長は、その都度、新たに録音した長さに変更されます。(図2)
(このときには、残容量分で調整しますので、他のメッセージが消去されることはありません。)

故障とお考えになる前に

こんなときには?	お確かめください	参照ページ
応答ボタンを押しても、応答セットができずにディスプレイが“E-2”表示となる	●使用する応答メッセージが未録音ではありませんか?	13・28
登録操作ができない(ディスプレイは 確認 を表示している)	●[確認]ボタンを押したまま、[送り]ボタンを押しましたか?	10〜45
録音(再生)したいチャンネル番号が入力できない	●1～9チャンネルの応答メッセージを録音(再生)するときに、2ケタの数字(01～09)を入力しましたか?	12・27
録音がスタートしない	●マイク(またはテープ)ジャックにプラグが差込んでありますか?	12・27
ディスプレイに表示が出ない	●電源プラグが外れていませんか?	10
応答ランプが点滅している	●タイマー指定動作中で、応答停止の時間帯ではありませんか?	28
録音内容が消えてしまった	●長期間(4日以上)、停電状態となりませんでしたか?または、ご使用途中で音声メモリーユニットを増設しませんでしたか? 録音をやり直してください。	5
タイマー動作をしなくなった	●長期間(10日以上)、停電状態となりませんでしたか? 年間タイマー登録が消えています。再登録してください。	5

■エラー表示について

操作中に異常があるとディスプレイにエラー表示をします。この場合は、[解除]ボタンを押してエラー表示を消して、以下の処置をしてください。

エラー表示	内　　容	処　　置
E-1	タイマーモードで使用しているとき、1日パターンプログラムが未登録です。または他のプログラムとの間で矛盾があります。 (例:1日パターンプログラムは登録したが、他のプログラムが未登録のとき、未登録の1日パターン番号を他のプログラムで指定したときなど)	●登録内容を確認し、再登録してください。
E-2	メッセージに未録音のチャンネルがあります。	●該当のチャンネルを録音してください。
E-3	録音容量が満杯のときに、新規のチャンネルへ録音をしようとしたとき。	●「音声メモリーユニット(4分用)」(別売)を増設し、録音容量を拡張してください。または、再録音し、各メッセージ長を調整してください。
E-4	「自動録音チャンネルの設定」(45ページ)をせずに自動録音の操作をしたとき。	●「自動録音チャンネルの設定」を行ってください。
E-5	自動録音のときに、録音途中で録音コードが本機のテープジャックから抜けたとき。	●録音コードをテープジャックに差込んで再録音してください。
E-6	「自動録音チャンネルの設定」どおりにテープレコーダからの再生出力がありません。	●テープレコーダの録音内容を確かめてください。

おもな仕様

収容回線数		最大３回線
応答	録音時間	1分(基本実装)〜13分(音声メモリーユニット3枚装着時)
	録音チャンネル数	1〜12チャンネル(任意)
	録音方法	マイク/テープレコーダ/ミキシング/テープレコーダからの自動録音
着信	録音時間	最大6時間(VR-200・1台接続時/C-90テープを2倍モードで使用時)
	方式	自動通話録音装置VR-200(別売)の接続による(最大12台が接続可)

使用電源	AC100V±10V(50/60Hz)
消費電力(W)	待機時6、動作時9
寸法(mm)	324(幅)×240(奥行)×74(高さ)
重量(kg)	約2.1

■付属品

マイク/録音用コード(各1)/モジュラコード
取扱説明書(1式)

アフターサービスについて

■保証書

必ず販売店名、お買い上げ日の記入をご確認の上、お求めの販売店からお受取りになり、取扱説明書と共に大切に保管してください。

■保証期間は1年

正常なご使用状態で保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書を提示してください。保証条件に基づき「無償修理」いたします。

■修理をご依頼のとき

47ページの「故障とお考えになる前に」をご覧になり、なお異常のあるときは販売店にご連絡ください。
〈ご連絡いただきたい内容〉
- ●お名前●ご住所●電話番号●製品名
- ●製造番号(装置の底面を参照)
- ●お買い上げ日(保証書を参照)●故障内容

正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理いたします。ただし、本機の故障、誤動作または不具合により、利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター 0570-03-8811

受付時間：月〜金 9：00〜17：30（土・日曜日、祝日、弊社指定休日除く）

修理に関するご相談

●製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または下記の弊社「支店／営業所」へお問い合わせください。

株式会社 タカコム　本社・工場／〒509-5202　岐阜県土岐市下石町西山 304-709

支店／営業所名	住所、電話番号	担当地区
東京支店	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2-9-8（日本橋 MS ビル） 電話：03-5651-2281	関東、甲信越
札幌出張所	〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目（オーク札幌ビル） 電話：011-271-0225	北海道
仙台出張所	〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1 丁目 6-10（仙台北辰ビル SEED21） 電話：022-726-7300	東北地区
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-10-17（今池セントラルビル） 電話：052-734-6601	東海、北陸地区
大阪営業所	〒542-0081 大阪市中央区南船場 2-5-23（自重堂ビル） 電話：06-6260-4611	近畿地区
広島営業所	〒733-0021 広島市西区上天満町 3-19（第 2 横山ビル） 電話：082-291-6400	中国、四国地区
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊 1-3-14（佐藤ビル） 電話：092-431-1942	九州地区、沖縄県

PRINTED IN THAILAND 95.12-2

1日パターン計画表

年用

ディジタル方式
3回線自動応答装置
AT-D39R

1日パターン番号	用　途	時刻 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24	備　考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

Ⓐ メッセージ計画表

年用

ディジタル方式
3回線自動応答装置
AT-D39R

チャンネル番号	メッセージ(用途)	録音時間
1 CH		秒
2 CH		秒
3 CH		秒
4 CH		秒
5 CH		秒
6 CH		秒

チャンネル番号	メッセージ(用途)	録音時間
7 CH		秒
8 CH		秒
9 CH		秒
10 CH	用件録音機能使用時のお待たせ案内用	秒
11 CH	用件録音機能使用時の録音満杯応答用	秒
12 CH	保留音源用( )	秒

Ⓑ 1日パターン・プログラム表

No.	1日パターン番号	メッセージ(CH)	切替時刻 時	切替時刻 分
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

No.	1日パターン番号	メッセージ(CH)	切替時刻 時	切替時刻 分
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

No.	1日パターン番号	メッセージ(CH)	切替時刻 時	切替時刻 分
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				

※1日パターン番号は、1~7の数字を記入してください。
メッセージは、チャンネル番号(1~9CH)を記入してください。

Ⓒ 週間プログラム表

曜日	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT	日 SUN
1日パターン番号							

Ⓓ 変則休日プログラム表

No.	1日パターン番号	変則休日
1		第[ ]回目[ ]曜日
2		第[ ]回目[ ]曜日

Ⓔ祝日プログラム表

年用

3回線自動応答装置
AT-D39R

No.	祝日	月	日	1日パターン番号	振替休日	
					する	しない
1	元旦	01	01		1	0
2	成人の日	01	※15		1	0
3	建国記念の日	02	11		1	0
4	春分の日	03	21		1	0
5	みどりの日	04	29		1	0
6	憲法記念日	05	03		1	0
7	国民の休日	05	04		1	0

No.	祝日	月	日	1日パターン番号	振替休日	
					する	しない
8	こどもの日	05	05		1	0
9	敬老の日	09	15		1	0
10	秋分の日	09	23		1	0
11	体育の日	10	※10		1	0
12	文化の日	11	03		1	0
13	勤労感謝の日	11	23		1	0
14	天皇誕生日	12	23		1	0

※2000年以降の成人の日と体育の日は、第2月曜日の月日を表示します。祝日登録時に振替休日の「する・しない」のどちらかを登録しても、第2月曜日が祝日扱いとなります。

Ⓕ休日プログラム表

No.	1日パターン番号	振替休日		休日		備考
		する	しない	月	日	
1		1	0			
2		1	0			
3		1	0			
4		1	0			
5		1	0			
6		1	0			

No.	1日パターン番号	振替休日		休日		備考
		する	しない	月	日	
7		1	0			
8		1	0			
9		1	0			
10		1	0			
11		1	0			
12		1	0			

Ⓖ臨時プログラム表

No.	1日パターン番号	臨時日		備考
		月	日	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

No.	1日パターン番号	臨時日		備考
		月	日	
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

No.	1日パターン番号	臨時日		備考
		月	日	
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				